


悪の華 vol.4

Skeb+αまとめ

本編合計：64P
サークル：夢見町3丁目。



R18
Adult Only
成人向け



本作品は2024年～2025年前半に
リクエストいただいたSkeb作品と支援サイトで
投稿した作品の一部等をまとめたものです。

「墮ちた古風な人妻のその後の暗躍」	04p
「墮ちた古風な人妻の言葉は」	10P
「異世界からきた急成長系変身ヒロインの悪墮ち」	11P
「何も知らない主人公の幼馴染を 怪物が乗っ取って利用しようとするやつ」	19P
「企業スパイの奥様が捕まって洗脳される話」	25P
「巨乳眼鏡美人科学者が洗脳装置で敵幹部にされるやつ」	35P
「浄化された異世界ヒロイン、後遺症からえっちな子になる話」	45P
「男主人公と戦って逃げた悪霊が巫女さんに憑依するやつ」	56P
「クリスマスのお願い」(支援サイト 2024年 12月更新分)	62P
C104頒布 戦闘員化合同誌「染隸」 掲載作品	64p

ヒーロー派遣事務所
「正義の拳」本部

すみません…!!

どなたか…
ヒーローの方に…!!

話を聞いて
いただきたいのです…!!

堕ちた古風な人妻のその後の暗躍

どうなさいました？

…!
…夫が…

…旦那さん？

…?
…詳しい話は
一度奥で私が…

…こちらへ

では……

旦那さん……

ルベルユステイが行方不明

失踪前の状況から
怪人に囚われている
可能性が高く

その調査……救助を
我々に依頼したいと

……

しかし……

組織にスパイの
可能性を考慮し……

会話の相手は
最小限に
したかった……

なるほど……
聡明な方だ

あなたは確かに
あのヒーローの奥様のようですね

私を信頼していただきありがとうございます

「正義の拳」
現場隊員として
お約束します

彼は私達が必……

ず……？

ガッ

カマ



わざわざスパイの可能性について
ヒントまで与えたのに

正義の味方って言うのは
こんなに馬鹿だったかしら

か??

なに...



そのおかげで

私の目的は
簡単に達成できそうだけどね

この姿...
敵の幹部の...!?

目...的...?!



ズズズ...

そう

あんたたちの組織が邪魔だから

パッ！！

さっさと壊そうと思って

そのためにわざわざ
ルベルユステイの妻と嘘を…？

あら

それは
嘘じゃないけど？

旦那はちゃんと
私達の組織で
「飼って」いるわ

な…

ついでに
私を助けて欲しいのも本当

…私があなたに協力するとも？

もちろん

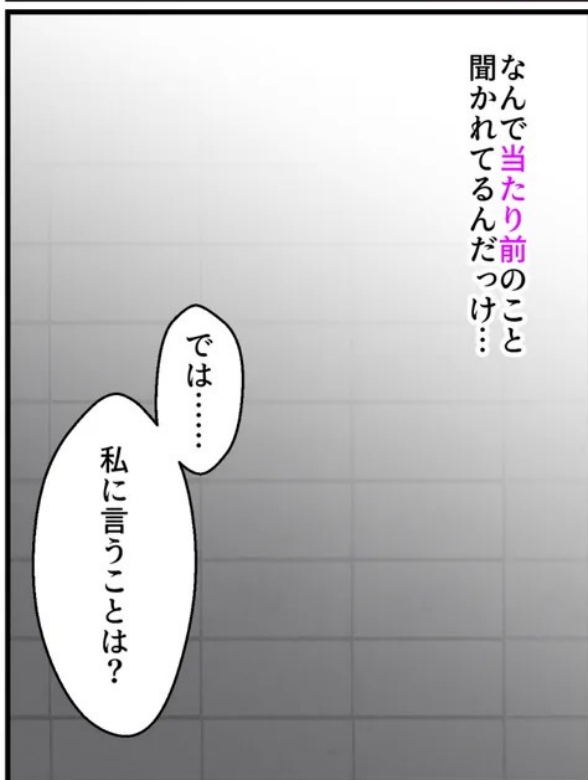
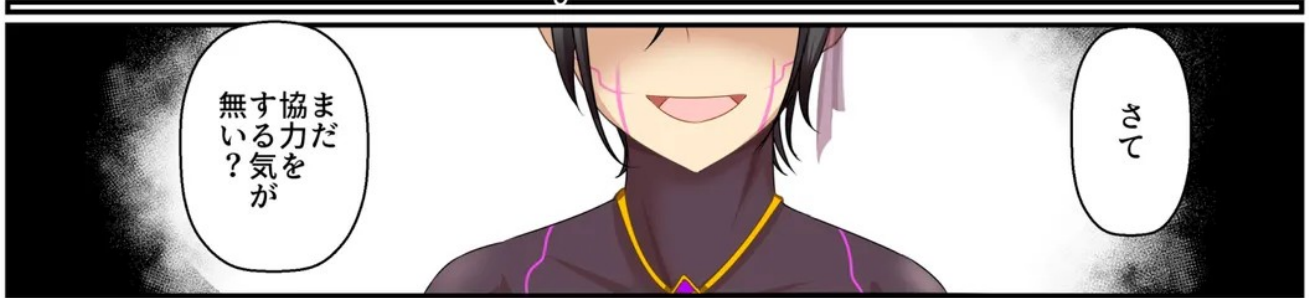
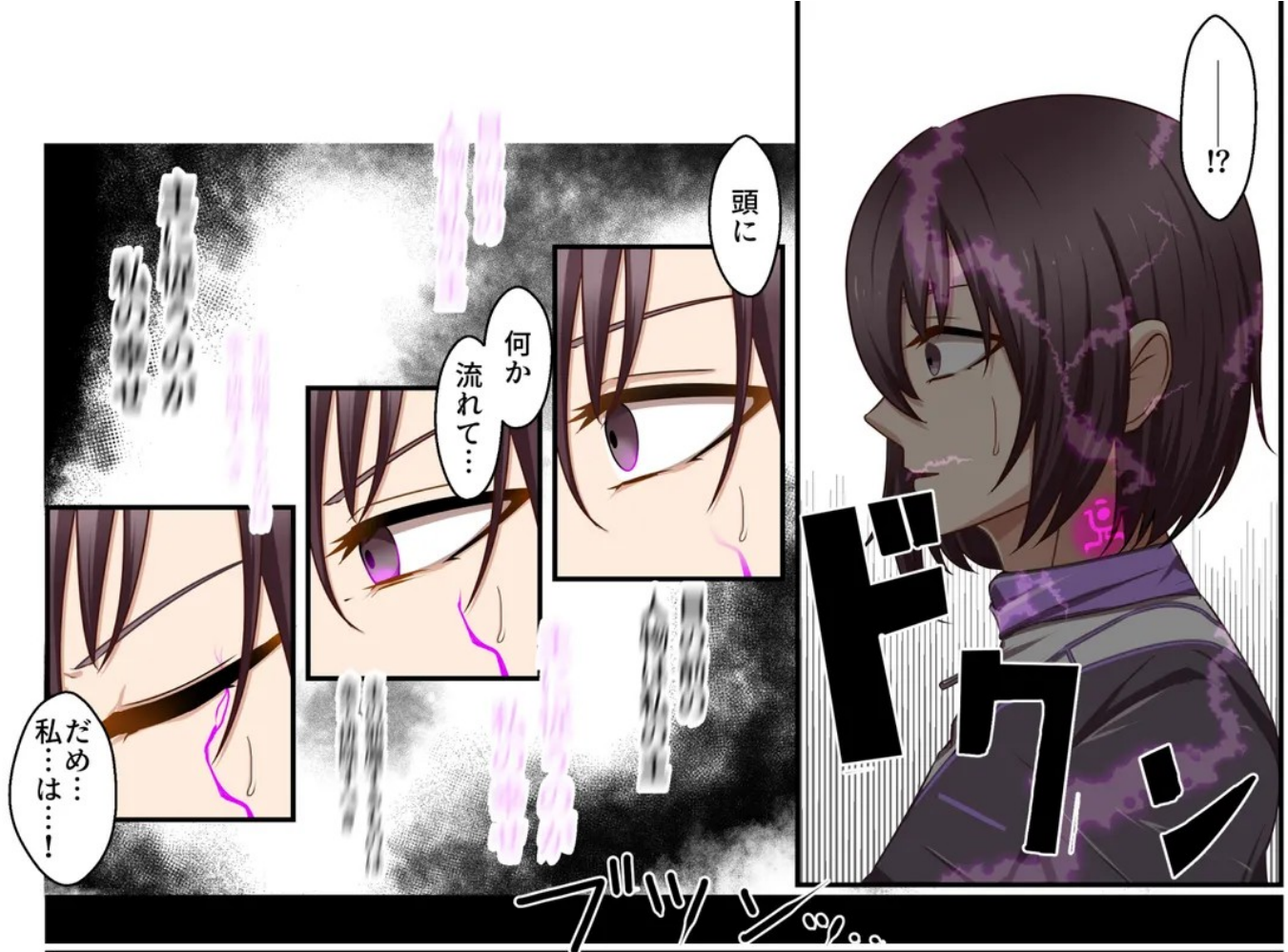
ズズ…

だってもう
お前は

私のものなのだから

…!!?
何か拵が…!!?

ホッ。



この方は私の主……

ラウルスマルム様……

ちゃんと従わないと

Violan

スゥ

……先程までの
態度をお許しく下さい

この私の立場

知識

全てを

あなたと組織のために
存分にお使いください

……ええ
お前は私の道具

しっかり使って
破壊を
楽しみましょう

私の言葉は絶対

…あなたの言葉は絶対

今後何があっても
正しいのは私

…何があっても
正しいのはあなた…

私に聞かれたことは
全て答えること

それがお前の幸せなのだから

…それが私の幸せ

さあ…
お前が知ってる情報

まずは全部教えてもらおうか

堕ちた古風な人妻の言葉は

異世界からきた
急成長系変身ヒロインの悪堕ち

数日前

俺は彼女——
リーベに出会った



リーベは
ポロポロの
状態だったが

信じられないほど
冷静に
自身の状況を
説明した

彼女は这个世界とは
別の世界にある
国の王女だった

だが何者かに
国は滅ぼされ

はじめは子供の妄言だと

命からがら：
託されたネックレスの力で
这个世界に逃げてきた：らしい

そう思っていた



彼女の言う「何者か」が現れ

その場から逃げるため

その手を取った時

パマ

ア...

リーベは美しい：
「浄化の力」を持つ
大人の女性へと変身し

俺はその不思議な話を
全て信じるしかなかった...

それから俺は
行くあてのない
リーベを保護し…



同時に

彼女を狙う者との
戦いが始まった



やつらは
彼女の持つ
ネックレスを
欲しているようで

幾度も俺達の前に
現れた



大事なもの…
なんだっけ

ええ
両親から
託された物で…

今は…



あなたとの
絆の証でもあります



これが…あの首飾りの…

使用者の力を…
全ての法則を
超え引き出す力…

いや…
必要なのは
あの女自体も…

であれば…

ズズ

んー……

おはよう……

どうした？

いえ……
ネックレスが……

汚れた……というか

くすんでしまった……

みたいで

キャ——ツ!!

ちゃんとういう
不思議アイテムも
汚れるんだ……

異世界の物質にも通じるかは
わからないけど
あとで色々試してみよう

はい……



あれは
昨日の…



ナニナニ...



懲りない
方ですね…

今度こそ…
完全に浄化して
さしあげます



さっきの悲鳴…
襲われて
いた人は…?

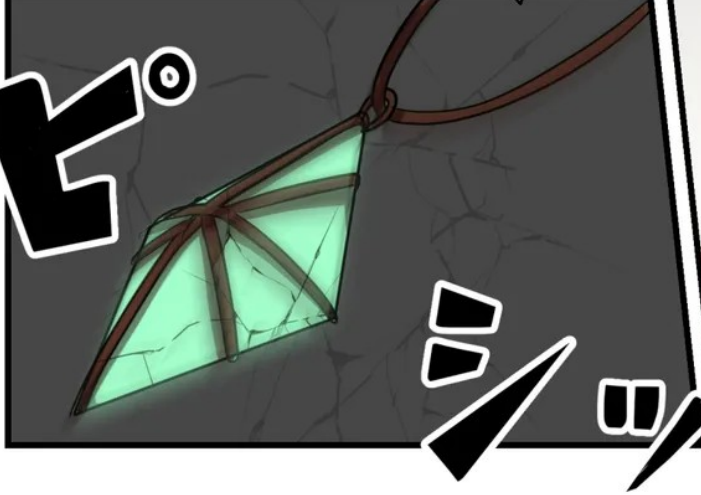
アキト様!



私に力を…!

待て!!
なにかおかしい…

え…?



ト

シ

リーベ!!

何...?
この気持ちの悪い...
感覚!!

あ

いえ...
これは...

あは

は



リーベ…!?

成功のようだな

彼女に何をした…!?

別に何もしてないさ

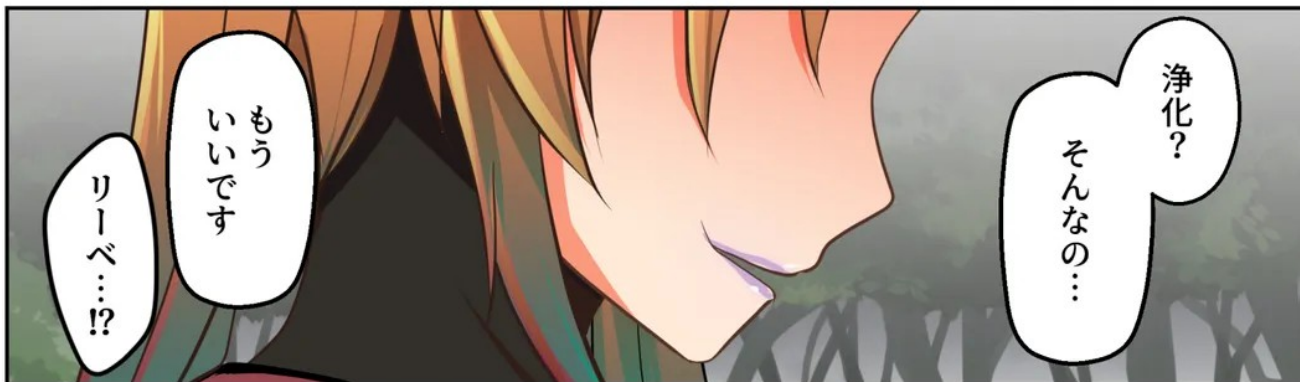
ただその首飾りに仕込んだ
僅かな俺のエネルギーを増幅し

その女自身に
力を引き出させた

随分
面白い仕上がりになったようだかな

とあ…

俺の浄化を
するんだったか?

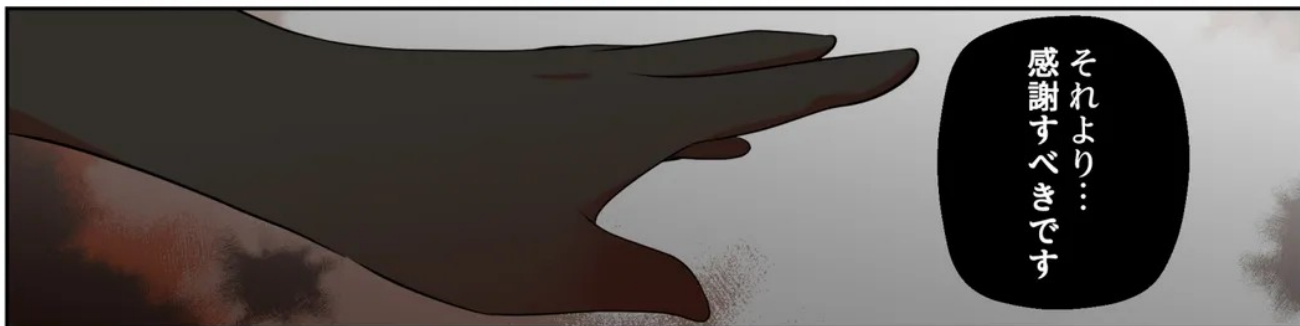


浄化？

そんなの…

もう
いいです

リーベ…!?



それより…
感謝すべきです



こんなにも素晴らしい
幸福…快楽を

教えて
いただいたのですから

アキト様にも

私が教えて差し上げます

何も知らない主人公の幼馴染を
怪物が乗っ取って利用しようとするやつ



ぐ……
おのれ……
いつも上手く
行くとは
思うなよ……

サラ
サラ……

既に次の手は……



はっ！
何が来たって無駄
カイトには
手を出させないよ！

世界の命運を別つ鍵が
魂に封印されている(と聞いた)
円山 カイト

対妖魔特化生活保全課所属
矢祭 レオナ



……

うり
うり

近いって……

何が来ても
アタシがカイトのこと
守ってあげるからね！

あの二人…

また一緒にいる…

カイトの幼馴染
坂上 穂波

どうしていつも
一緒にいるんだろ…

あの場所は私の…

はっ

いけない…!
変なこと
考えちゃった…

ふん ふうん

早く帰る…!

次の手の為の
駒を探していれば…

いいものを見つけた

ズズズズ

やだなあ…
こんな気持ち…

なら素直に話せばいい

ズズ

ズズ

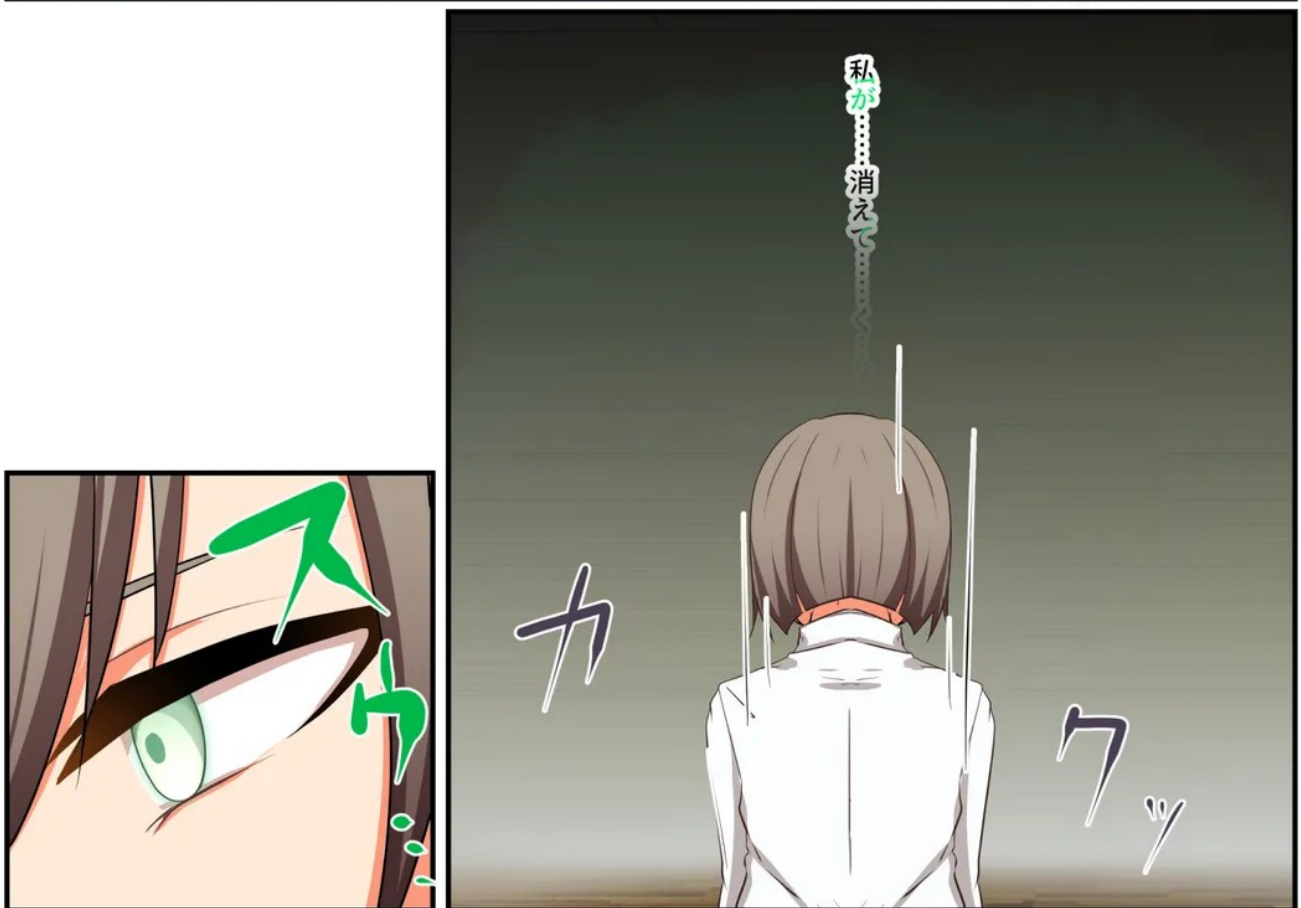
な…

誰…何…!?

話さないとやばい

取り戻してやればいい

お前のものにするなら





んんん……

穢れのない
美しき体ではないか

何を遠慮する必要があったというのだ



ん♡

感度だって
問題はないだろうに

この体でお前が……

……「私」が
カイの心を掴めば

全部解決する……
そう……全部……

ひん



おはよー!

迎えに来たよ

カイト

ほ…穂波……?



ど

あわ

あわ

ッ

どうしたんだ
その格好…

何が?
別に
普通でしょ?



ほら?

す

早く行こうよ

……ね?

企業スパイの奥様が
捕まって洗脳される話

いよいよね…

人の精神を操る薬物を
製造しているという噂の

■
■製薬…

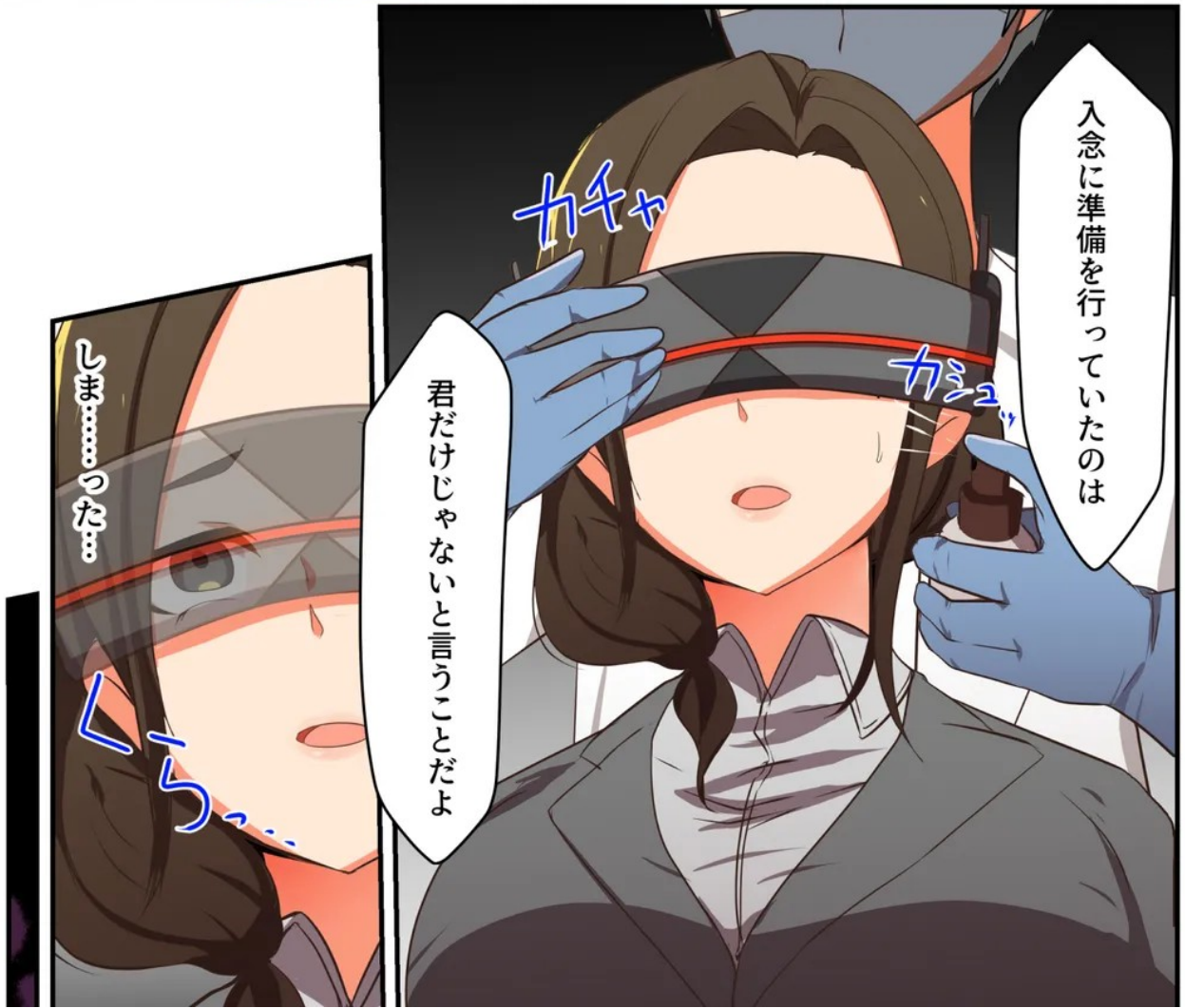
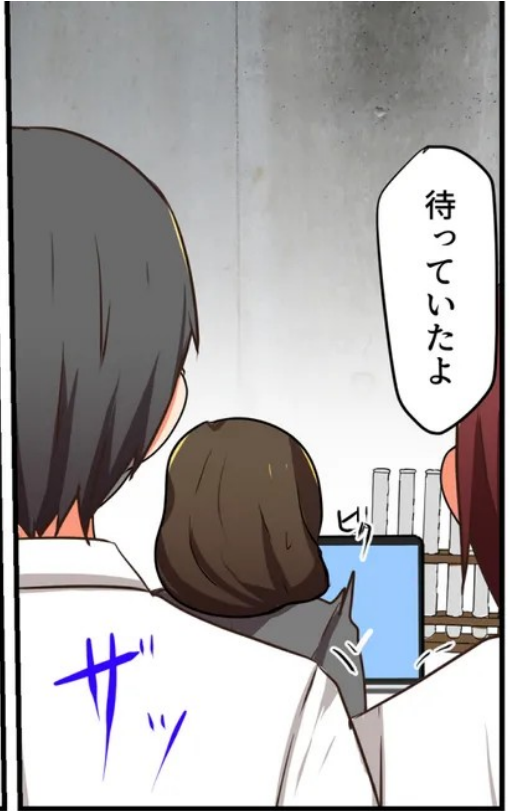
社員として
潜入して数か月…

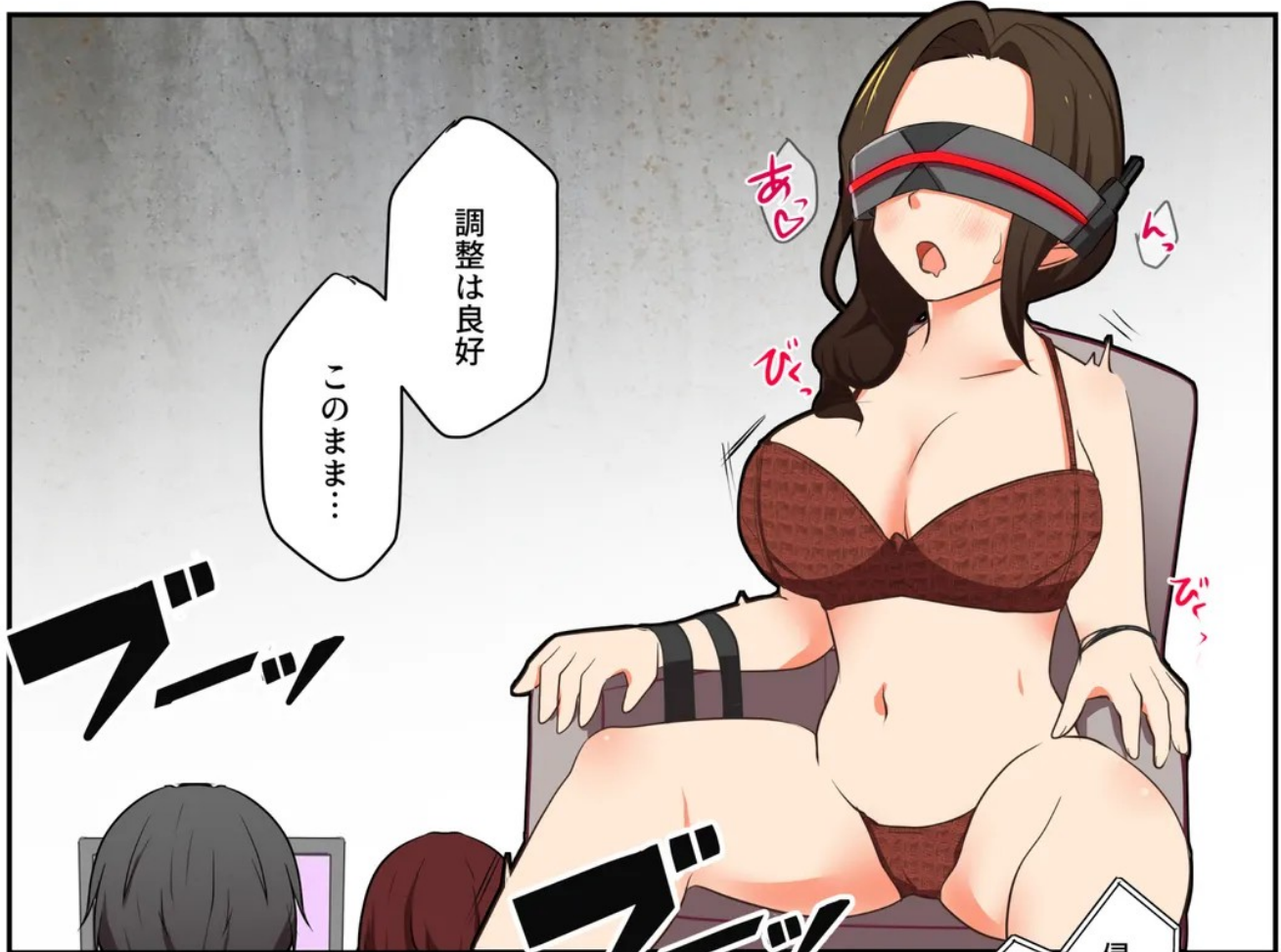
ようやくここまで来た

情報は充分…
あとは証拠の
写真とデータを…

……あの人にも

いっばい
心配かけちゃったな…





調整は良好
このまま...

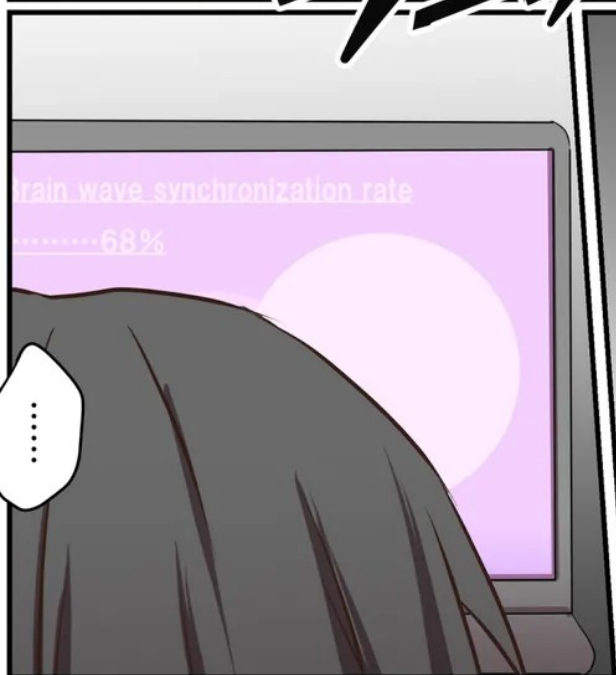
あゝん

びび

びび



侵入者です
侵入者を
確認しました



.....



もう一人いたか...

ズッ

所長...

いかがなさいますか



了解

……問題ない
彼女を解放して
目立つところに
放置しておく



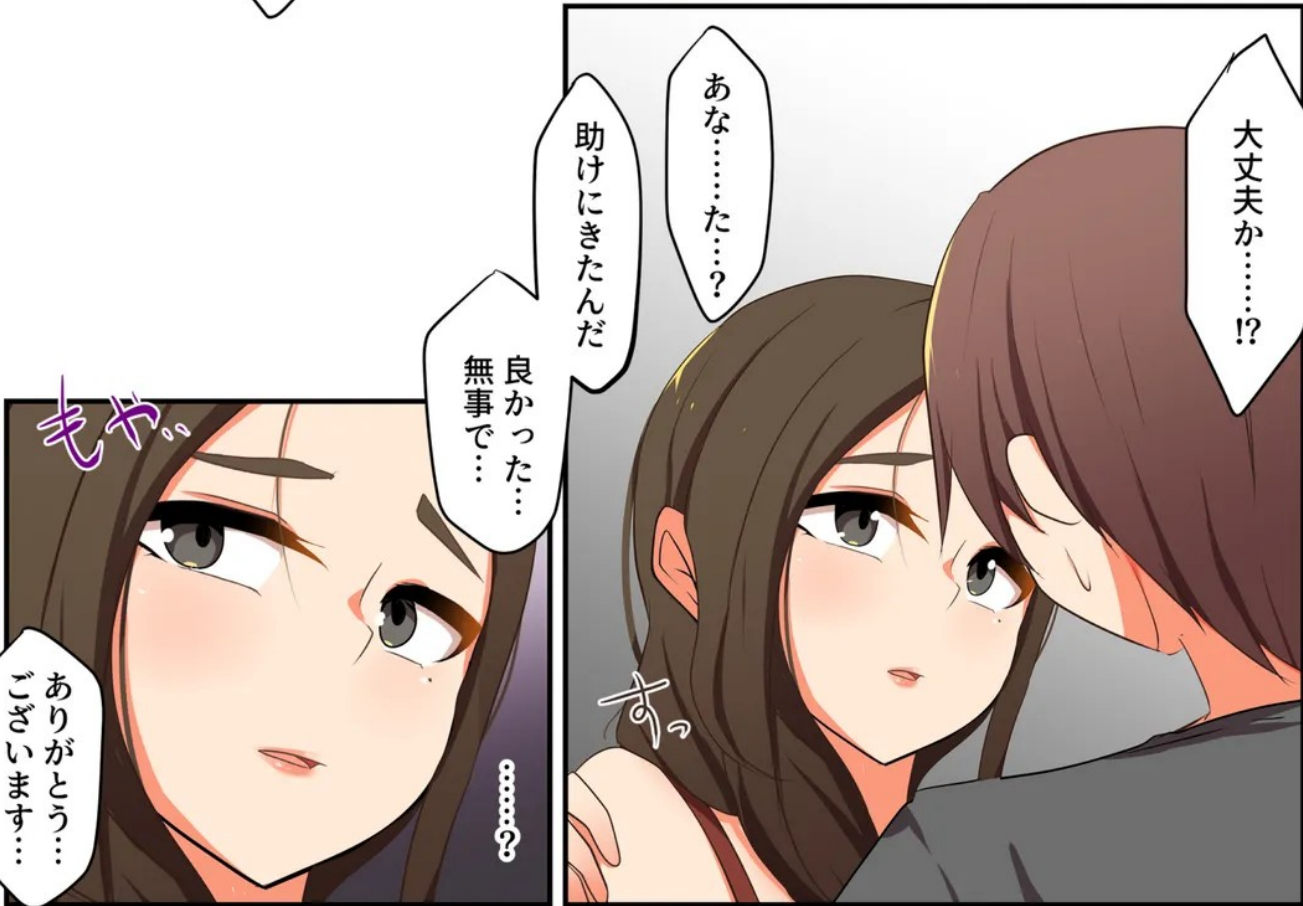
ま.た.で.な.
あ.と.で.な.

では



お.い.!!
し.っ.か.り.!!

…い



大丈夫か…!?

あな…た…?

助けにきたんだ

良かった…
無事で…

ありがとう…
ごめんです…

もや..

すっ



痛む…か…？

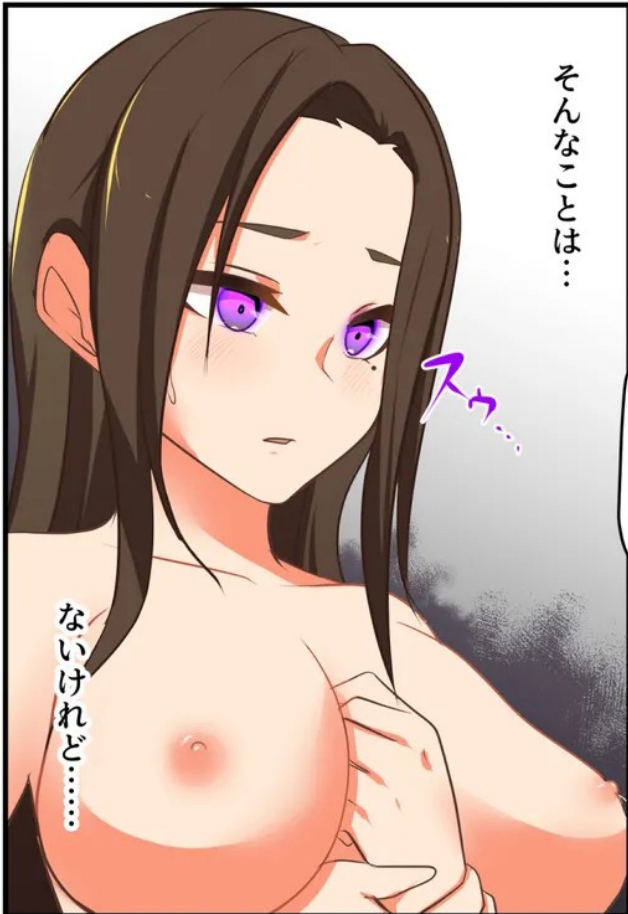


いえ…その…
そうでは…



…何も…
感じなくて…

…ごめんなさい



ないけれど…

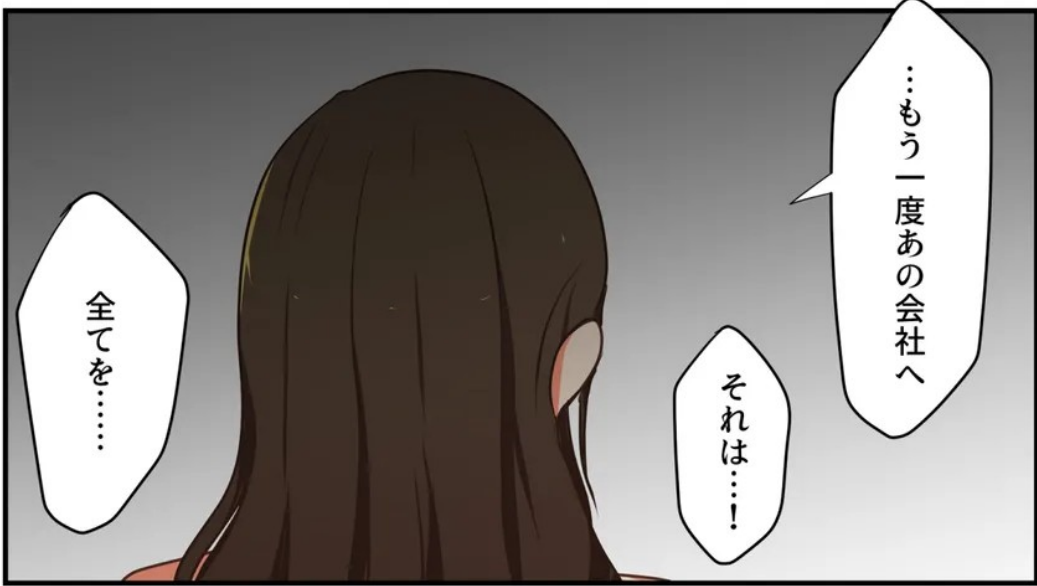
そんなことは…



無理させてごめん

そんなこと…！

無事だったとはいえ
酷い目にあっただ

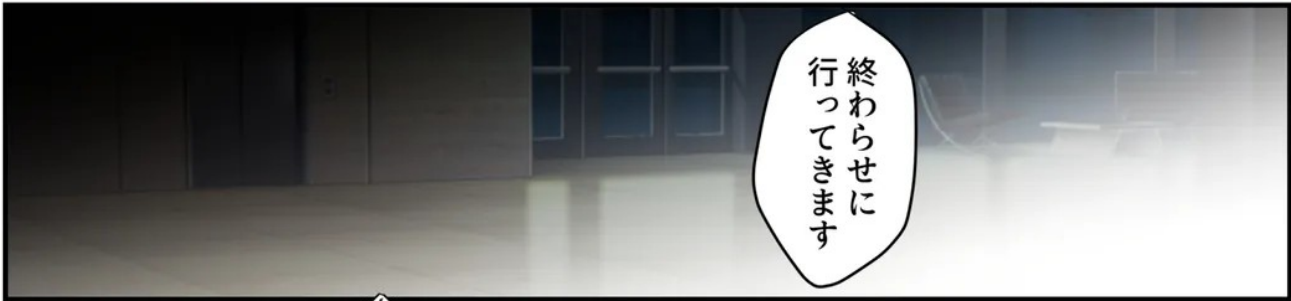


全てを……

それは……!

……もう一度あの会社へ

私を満たすものは……
コレジャナイ……



終わらせに
行ってきます



随分と堂々と
現れるじゃないか

あなた達の悪事を
暴こうとするのを

一度見られている身ですから

今さら隠すこともないでしょう

人間の悪い

我々は皆の幸福のための
研究を続けているだけですよ

その目で見て…実際に
体験してもらいましょう

よろしいですね？

…見極めさせて
いただきます

カ
キ
ヤ

スッ

これは
悪事を暴いて…

ただの日常に
戻るための行為…

すっ…

日常に戻る？

これからあなたは

私は

新しい素晴らしい
日常が待っているのよ…？

誰…？

これは…
私の…思考なの…？

対象を装置内へ

接続状況…良好

最終調整

ゴボッ

「社員」の基準脳派と
形状の合致を確認……

再度適性の確認

ああ……!!
そうだ……!!

……問題なく
彼女は我々のことを
理解してくれるでしょう

私は……この感覚が……
忘れられなくて……!!

違う……悪事……を??

どこが……??
こんな……幸福に
包まれている……のに……??

ああ……どんどん……
私が……変わっていく……♡

♡♡

♡♡

おはよう

気分は
どうかな？

生まれ変わった
ような気分です

……
♡

では我々が
間違ってる
ということも

理解して
いただけましたね

はい

大変な失礼を働き
申し訳ありませんでした

これからは私も皆の幸福のため

間違いを正してくれた所長のため

この身全てで
尽くさせていただきます…

よろしく
おねがいます…♡



先日回収した『ダークマーク』の
戦闘員勧誘デバイスだが

基本構造は通常の
ゴーグルと変わり無し

特殊な薬品の
ようなものも
検出は無し

今のところ
敵の情報
の収獲も
無しだ

人類保護組織『ブラン』
技術科学担当 ナズナ

分解は最後の
手段と思ってるが…

その前に提案はあるかな？

きらら君

そうですね…

試：一度あなたが
試してみるとい
うのは？

ナズナの助手
きらら

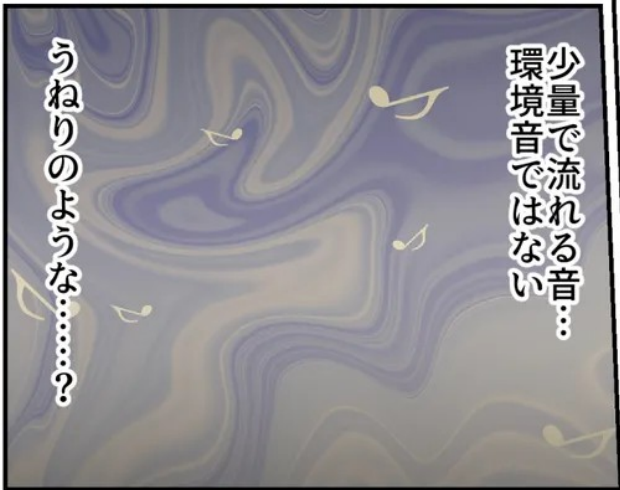
とんでもないことを言うねえ！





風景映像…?
特に異常は感じられないな……

むしろ心の
落ち着きすら感じるほどだ……



少量で流れる音…
環境音ではない

うねりのような……??



これは…なんだ?
思考を妨害されるような……

きらら君

そろそろ……





まずい!
きらら君
外してくれ!

はい



…収穫はありましたか?

ああ

す…

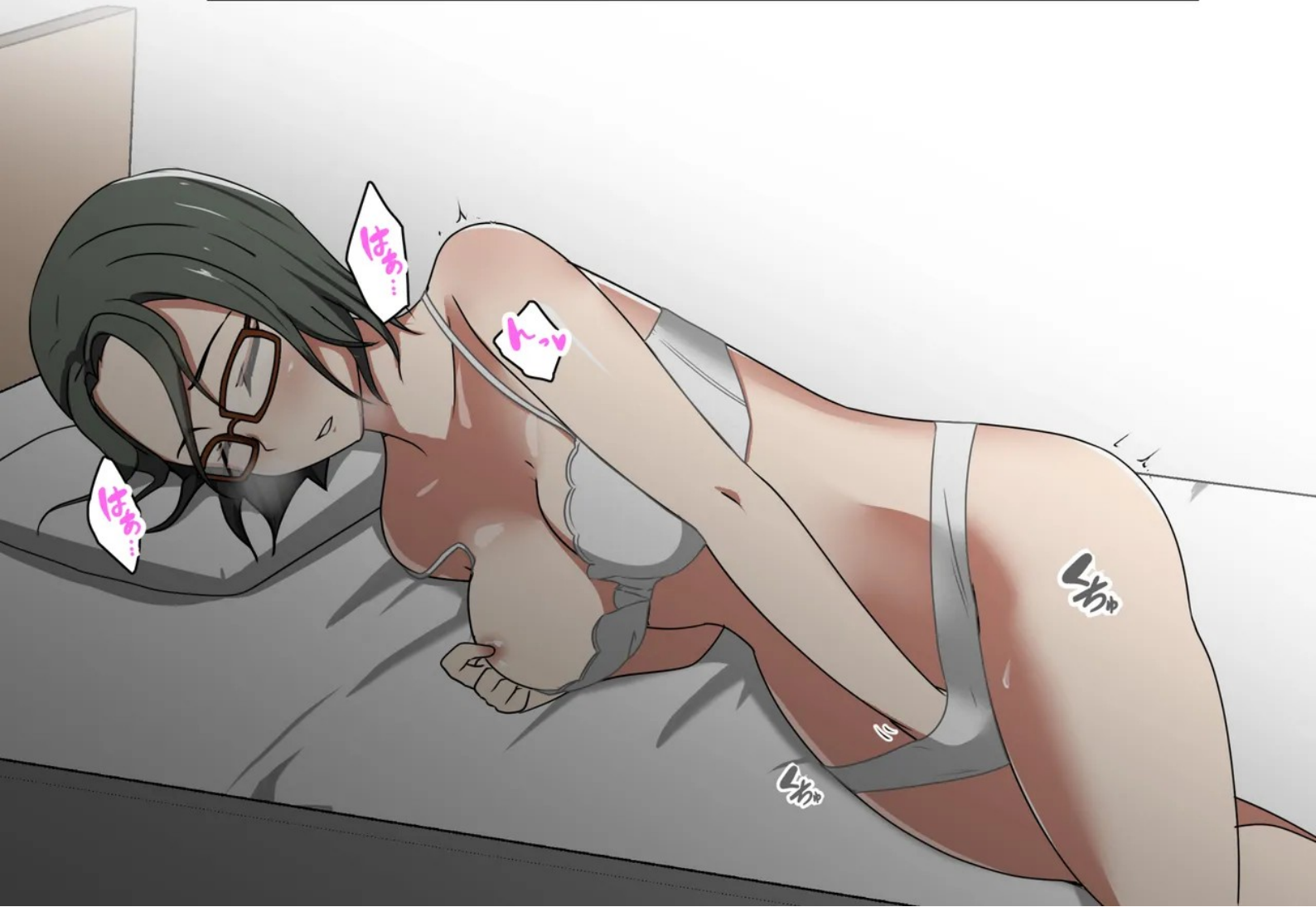
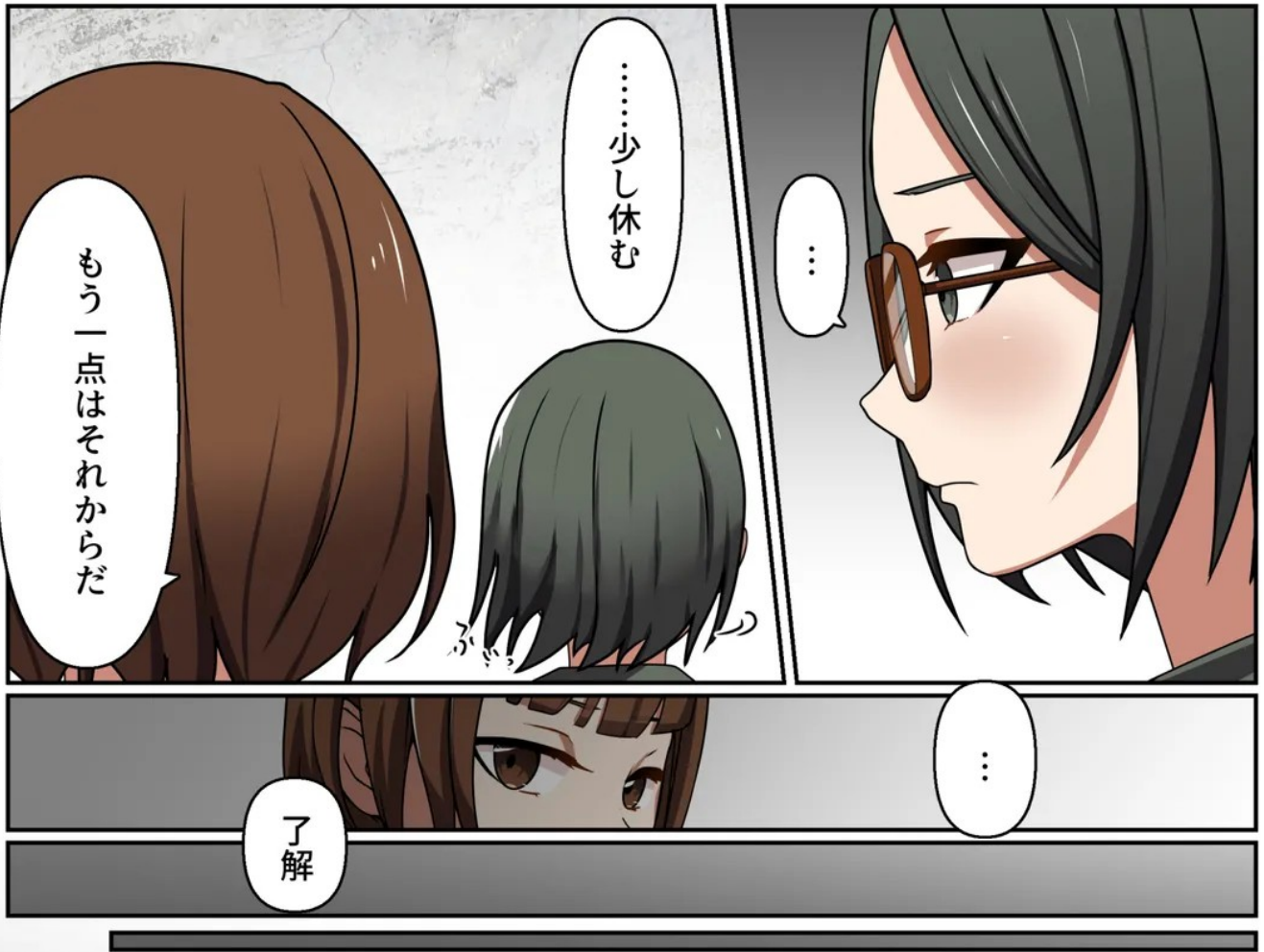
奴らは視界の情報を制限し
音のうねりを利用して
催眠のようなものをかける…

おそらく最初は
軽度なものだろうが…

長く視聴を続ければ
思考には悪影響が出るだろう

それと…

それと…
それと…



あの装置のもう一点
音のうねりが与えるもの...

それは異常なまでの
性的な興奮...

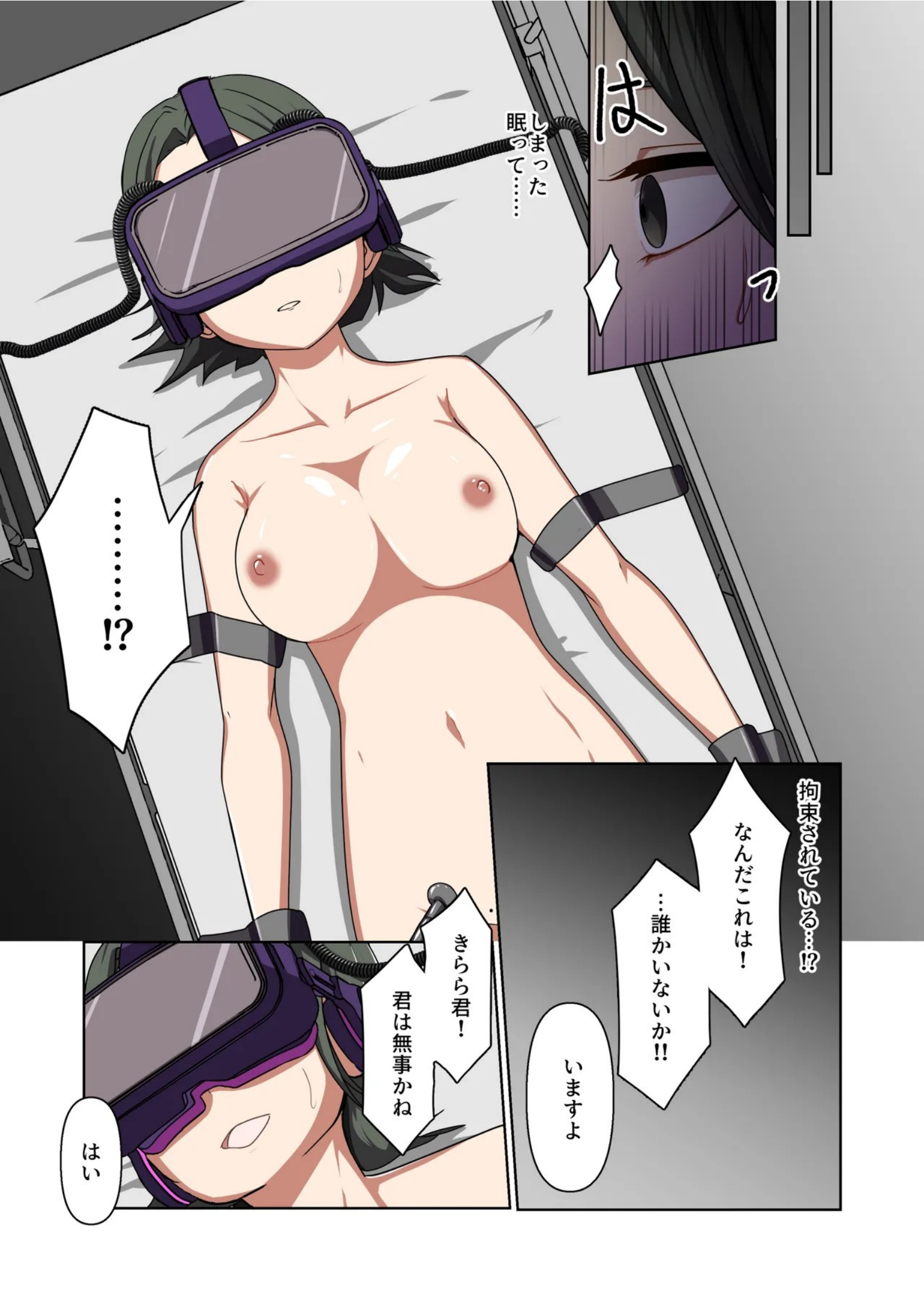
同時にそれが
満たされていく
快樂...

...おそらくこの興奮と快樂によって
思考能力...が...

ん...
あ...
ん...

♡

ん...



は

しまった...
眠ってしまった...

.....!
!?

拘束されている...!!

なんだこれは!

...誰かいなか!!

いますよ

きらら君!

君は無事かね

はい

……無事といいますが
別にあなたにも危険はないですよ？

何？

頭のキレる人
ではありますが……
人を信用しすぎですね

まあこれからは私が
いい具合に使って差し上げます

は？

察する力も
弱まりましたか？

デバイスとは私が
意図的に
持ち帰らせたもの

私はそもそも
『ダークマーク』の
人間です

……ふざけ……

これも君か！

そうですよ

そしてその装置は
衣類を纏わずに
正しい使い方は
正し

是非

本物を
お楽しみください

私とともに

この組織の
壊滅のために動きます

…ええ…

そのスーツは
私たちの忠誠の証

常に着用すること

…ええ…

確認しましょう

あなたの知識

経験

行動は
誰のために？

スーツは
いつでもあの快楽を
与えてくれます

…
♥

全ては

『ダークマーク』の
ために



リーベ…

しっかり……

…アキト…様…？

「浄化の力」を持つ少女

リーベは敵の罠にかかり
欲望に飲み込まれたが

自身を支え続けた青年
アキトの声によって
正気を取り戻した。



ぼっ
どうして…

私…
こんな…

申し訳
ありません……！



リーベが
無事ならいいよ

…帰ろう

あの日—

敵に利用された私を

アキト様は諦めずに
取り戻そうと戦ってくれた

彼の言葉で私も
自分を取り戻すことができた

アキト様……

何？

ひゃ？！
いえ……！

……？

身体の方は……

……まだダメそうか

……！

……はい

あの日以来私は元の

子供^元の身体に戻ることが
出来なくなつた

それでも



私を見てください



ぷり

私の愛を



私に愛を…!

リーベ…

私を



君は最近おかしい

自覚はあるか？

……あなたへの

愛情表現の
ことですか？

川
すっ

それは

おかしいことでは
ありません

私の愛は

あなたに与えてもらった
愛へのお返し

それだけ…

でも
同時に

止まらないのです

あなたで満たされなければ……

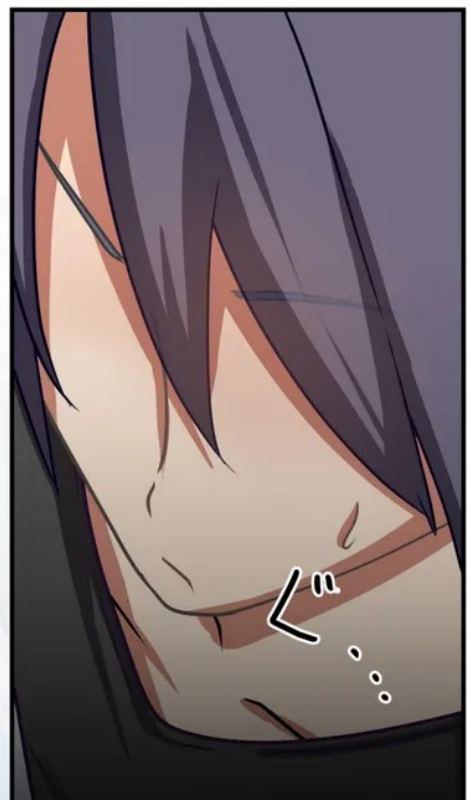
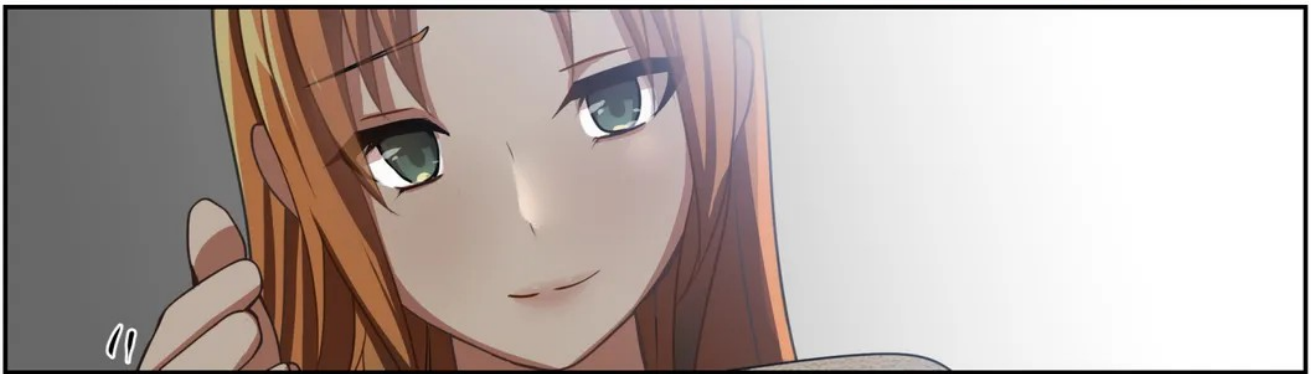
この身体は

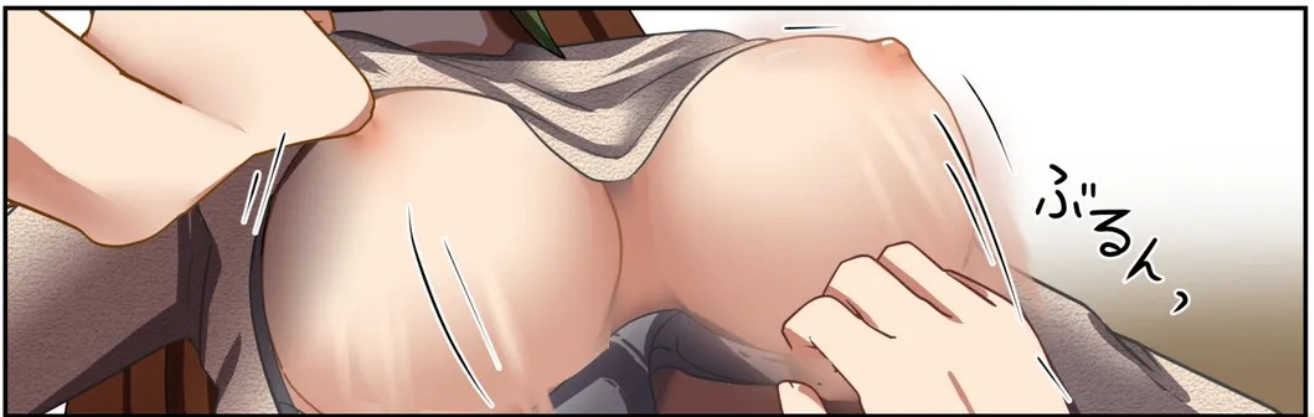
私は

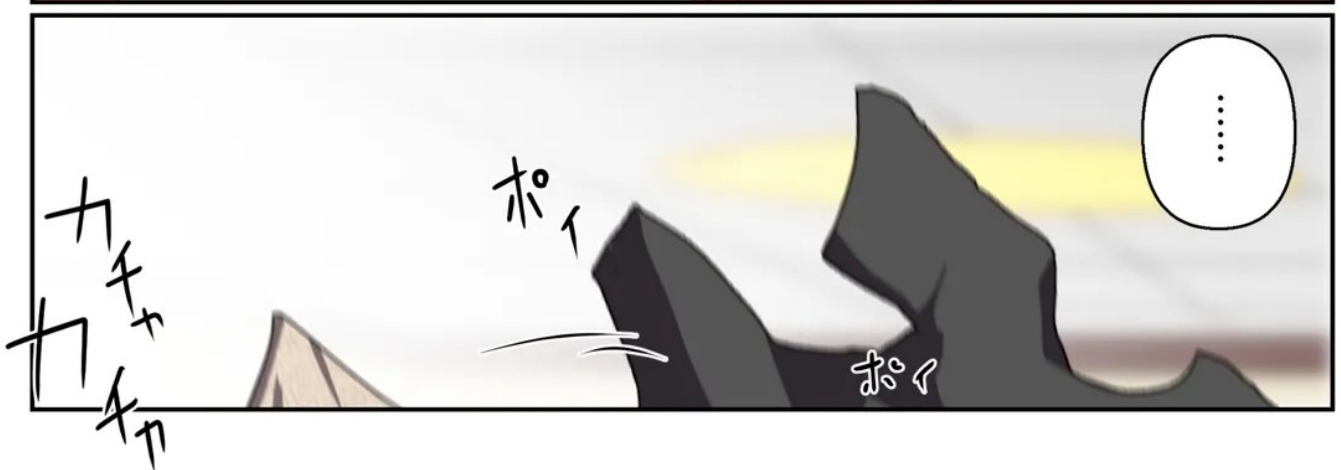
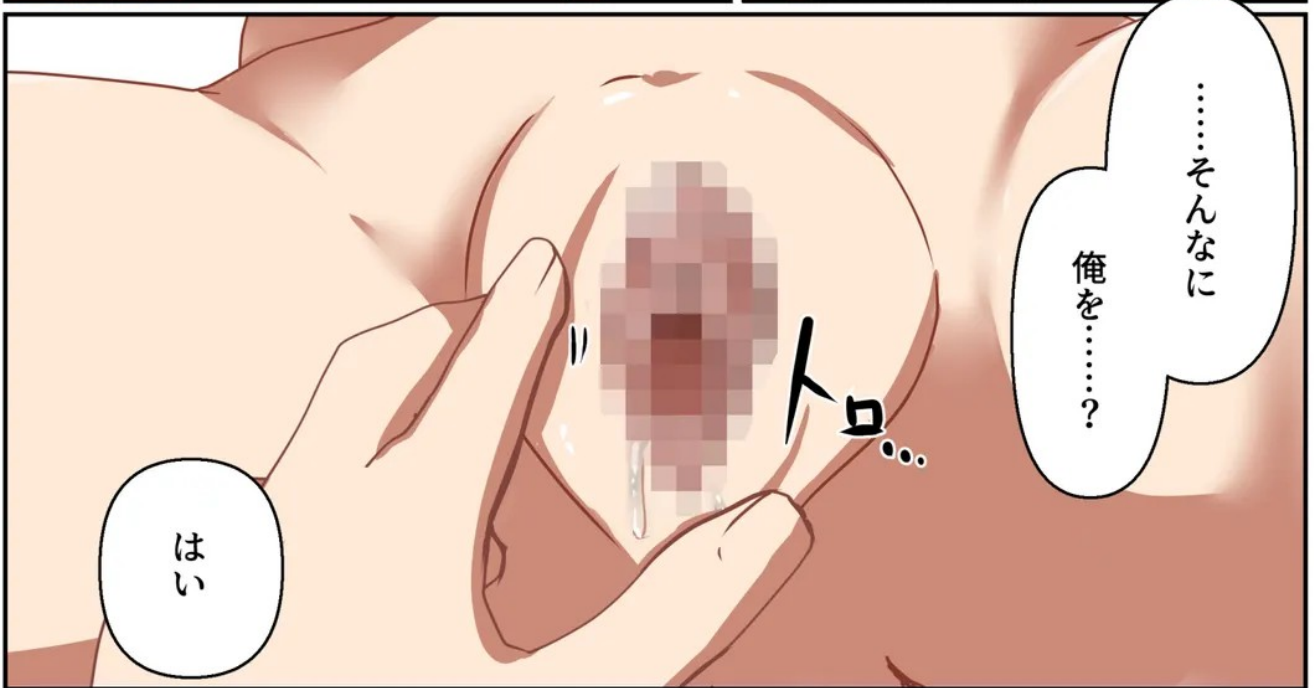
俺は…

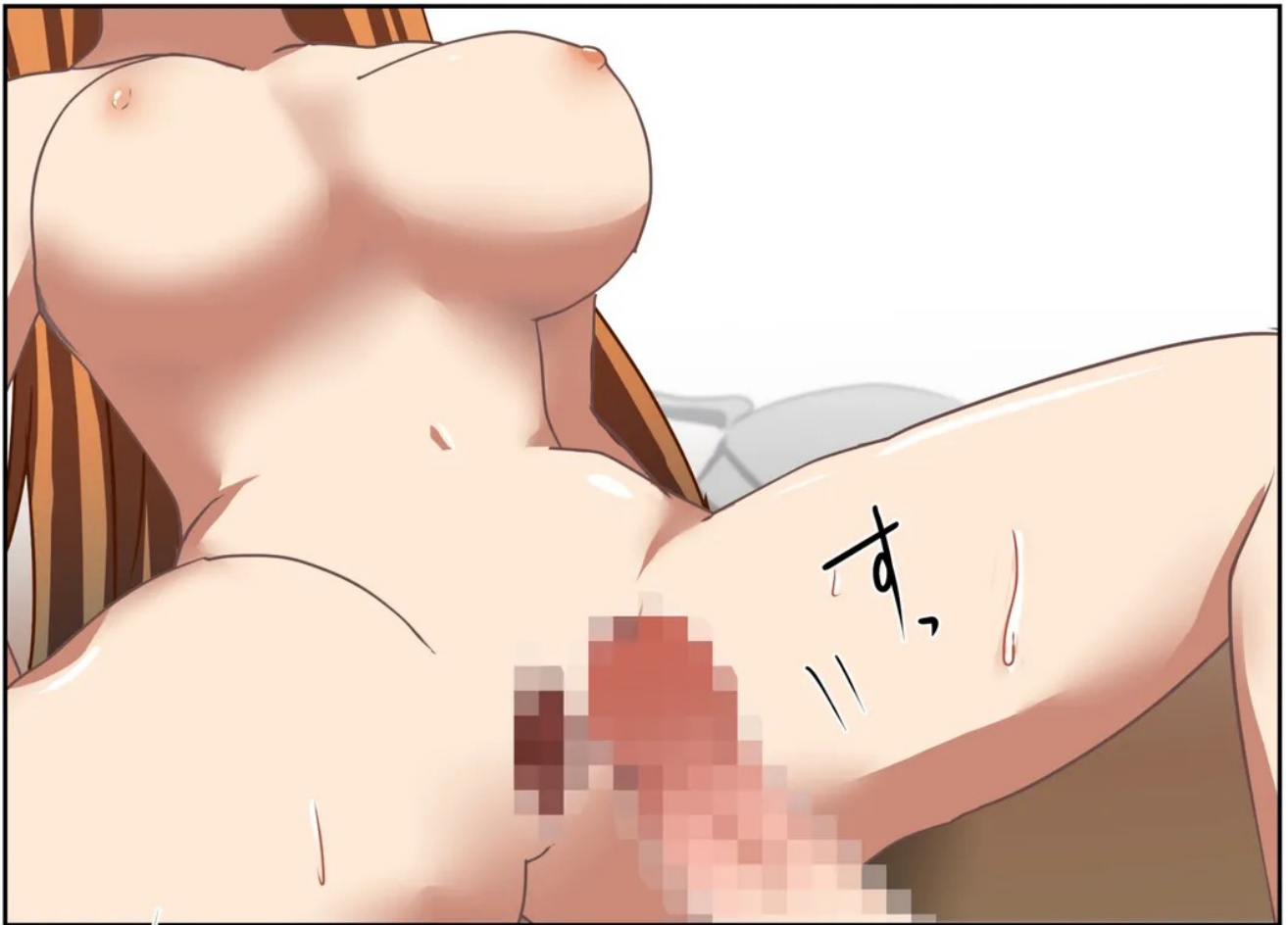
あなたの愛が
欲しい

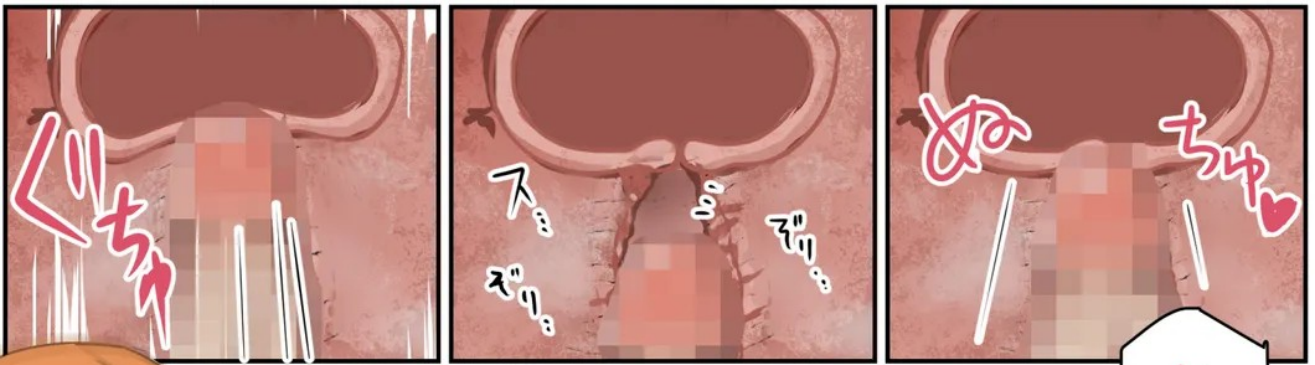
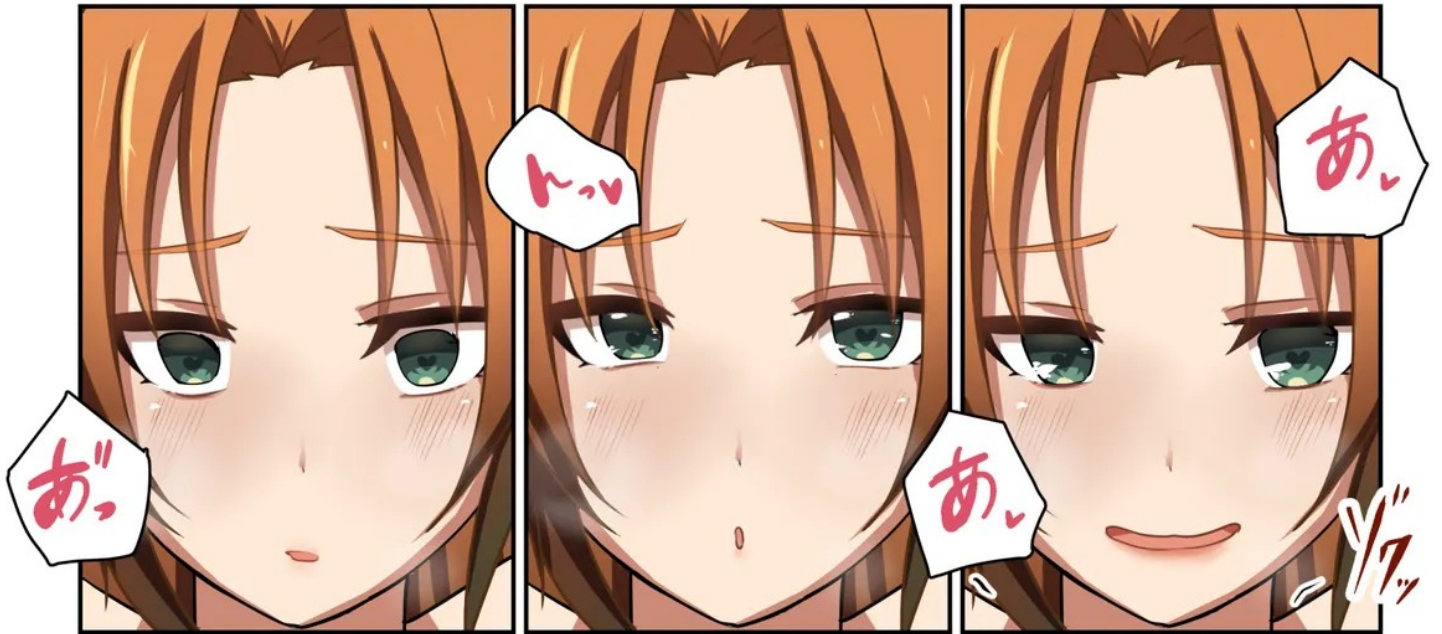
リーベ…













アキト様



やっちゃった……



あなたの愛が

体に染み渡るのを
深く感じました……

これからも

私にたくさん
愛をくださいね

う
……うん……

男主人公と戦って逃げた悪霊が
巫女さんに憑依するやつ

悪しき魂よ

ここまでだ

何か
言い残すことは
あるか？

確かに状況は悪いな…

くく……

ならば……

あっ
待て！

ふい





待てと言われて
待つ奴がいるか……!

はははは!!



しかし

まずいのは
たしかだ

どこかで
回復を
せねば……



これは僥倖……!

くく……

……!

ズ
ズ

ああ…
俺がこの体
使わせてもらう



え？
やだ
何か入って…



俺に
塗りつぶされる

誰!?

安心して

ズ

いや…





期待以上だ

手頃なところに
あった体だが



返す？
冗談だろ？

その子に
体を返せ…

っ〇〇



ああ

一般人に手は出せないか？
もったいねえなあ

消えかけの悪霊に
何ビビってんだ？

っ！

あ？

いいカラダだぞ？

ああ
せっかくだ

このカラダで
なぐさめてやろうか？

ふざけ……っ！

全力で
ご奉仕いたしますよ？

……なんてな？



クリスマスのお願い





全く

新人とはいえ

簡単に敵の罠にかかり
利用されるとはな…

罠？

違いますよ

元『I.U.I.L』隊員
要調査組織『リベル』所属
ルナ

怪人被害対策組織『I.U.I.L』
治安対策部部长
アメリ



ず私
と

先輩のことが
欲しくて



その欲望を開放してくれた

こっちにつくことにしたんです

ならそれが
間違いだ…

と…!?

クシュッ



ガ

…!?





するの

それがあなたの幸せ

私の駒として動くことが

ちが...

違う

意識が...
書き換えられる...

違う...?

私私
は...

私...は
...駒...



...はい

かしこまりました



やったー!

カクッ

これで先輩は
私のも...

隊員番号46番



処理が
終わったらなら
早くしろ

なんで……

あんた達……

正義の味方
だったろ…!?

目を覚ませよ……!

…理解不能

私は覚醒状態にある

ご主人様
解説を

いらないます

先輩は私の命令だけ

理解してればいいんですよ?

了解

お前達

要調査組織『リベル』所属
隊員番号 0045

要調査組織『リベル』所属
隊員番号 0158

私語が多い

A地区は制圧した

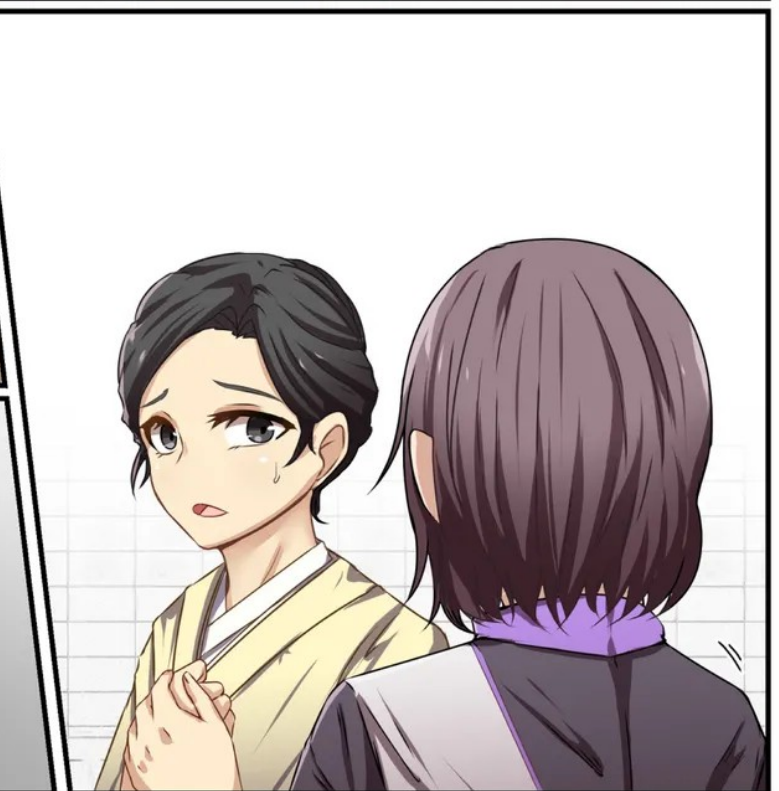
次はF地区

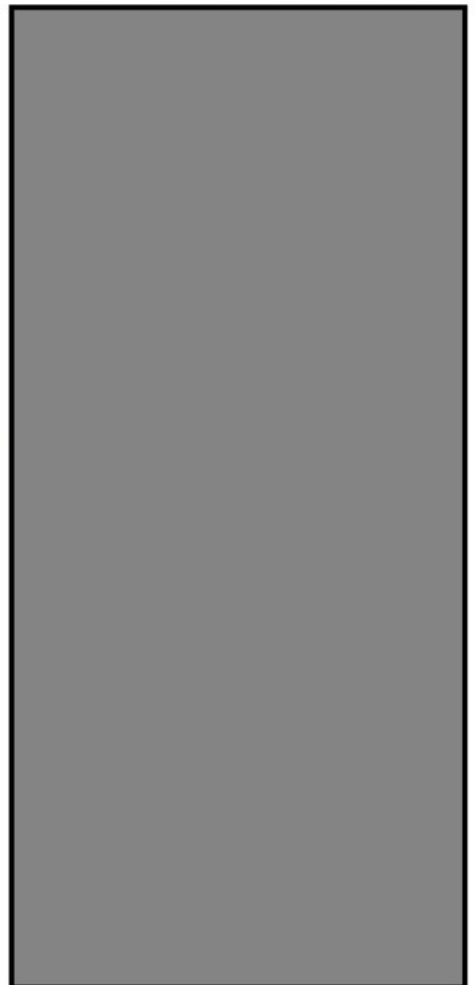
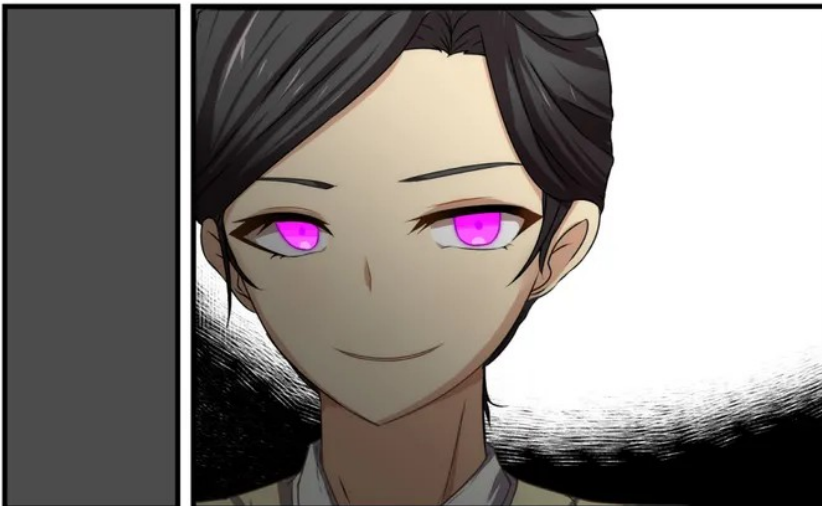
お前達が守ってたエリアだ

出来るな?

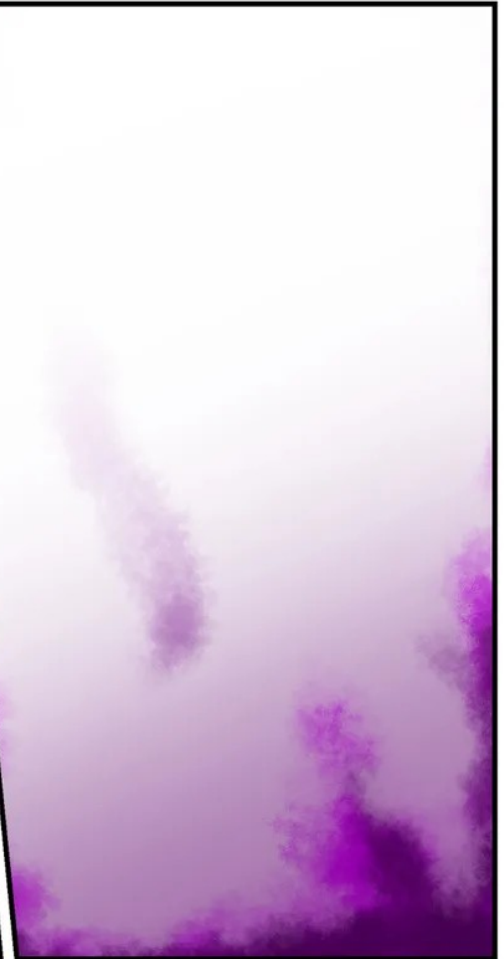
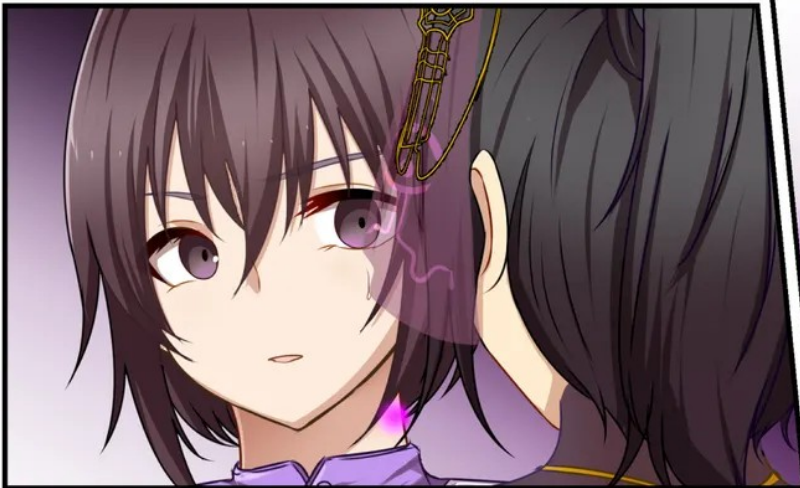
はっ

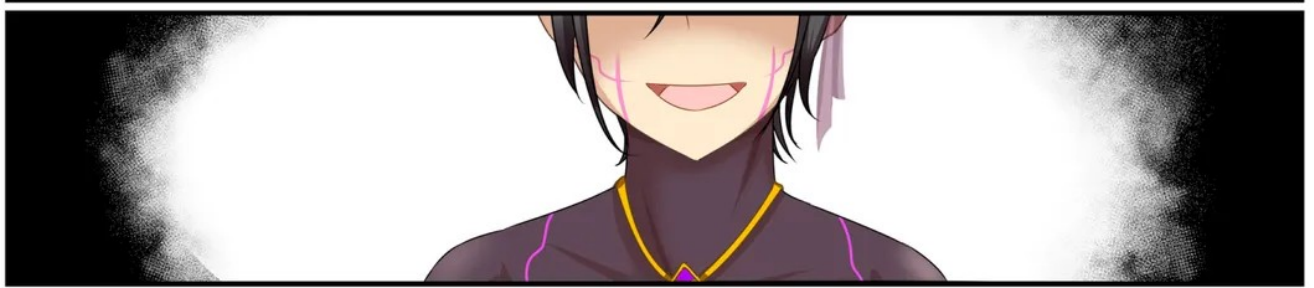
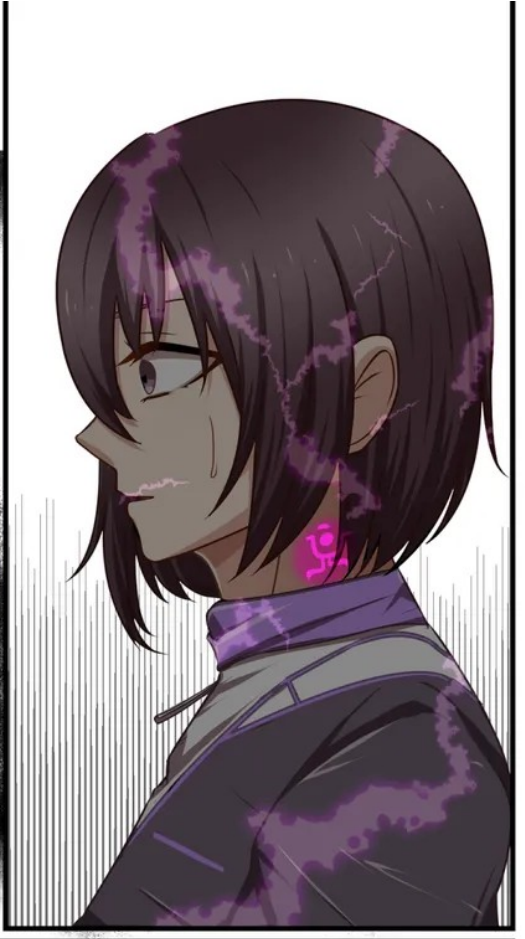
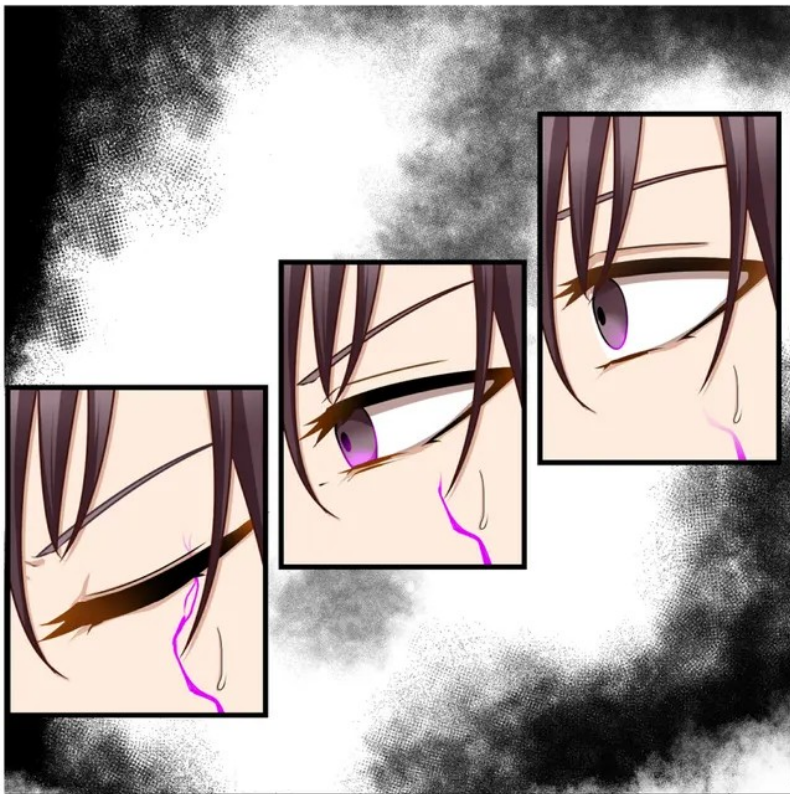
組織と我々の幸福のために!





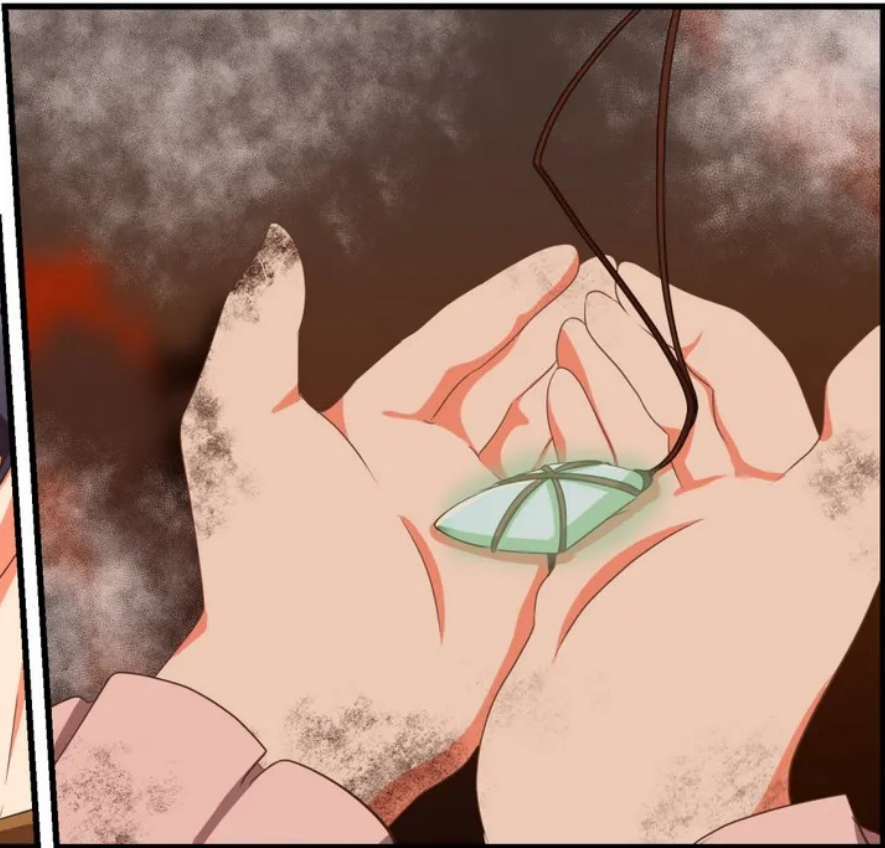


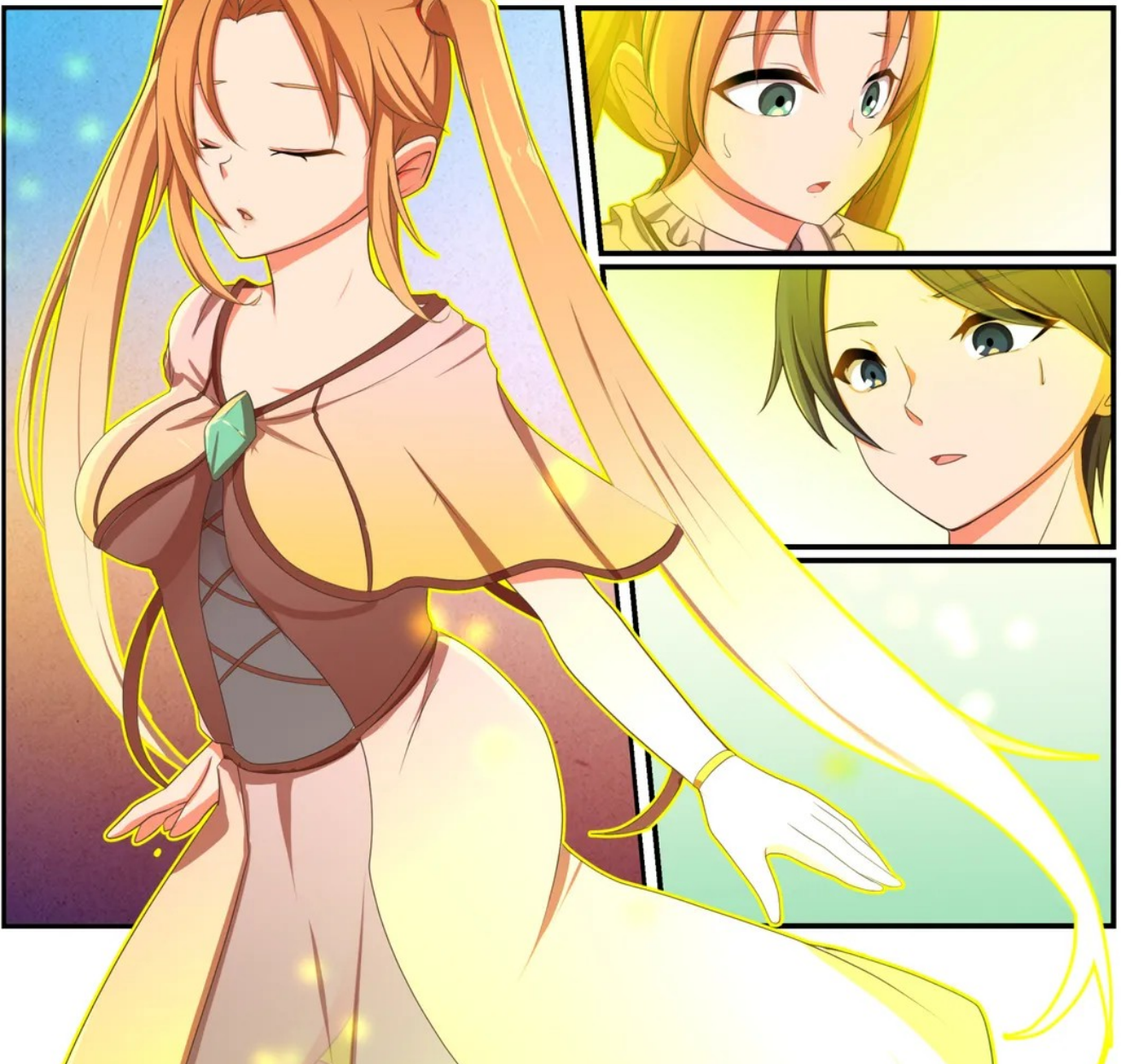


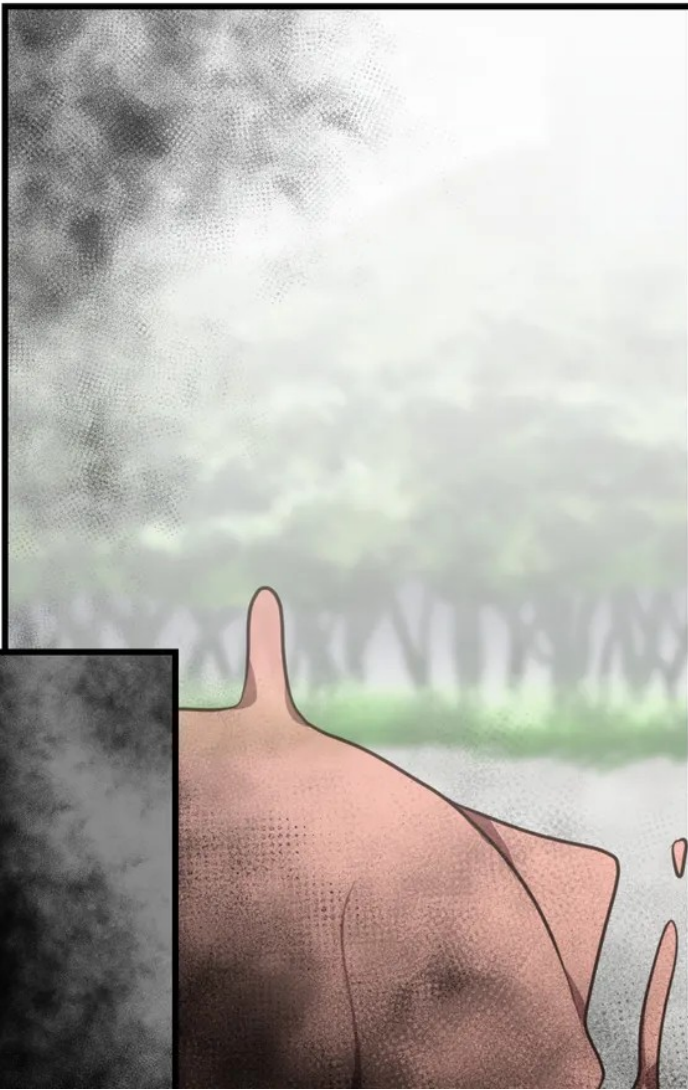
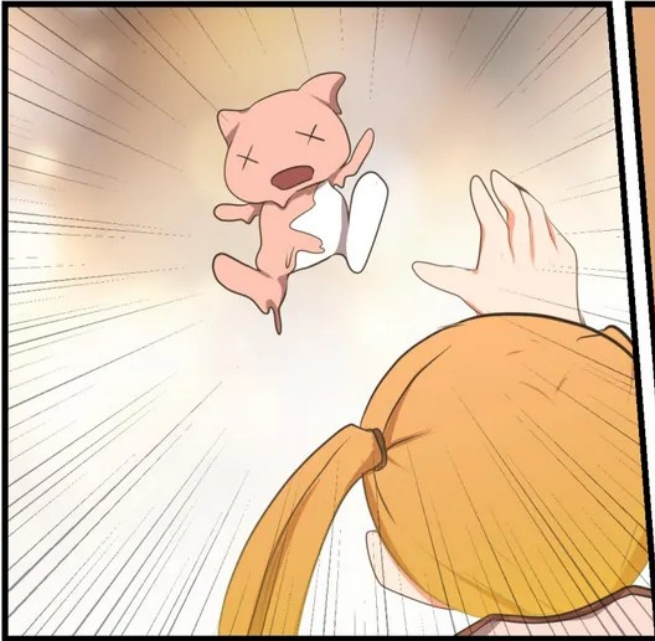


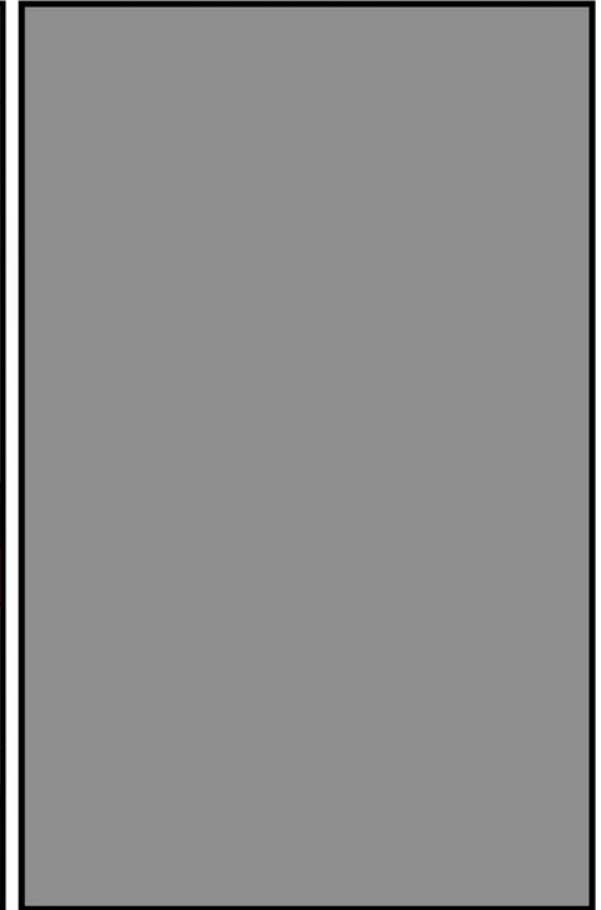
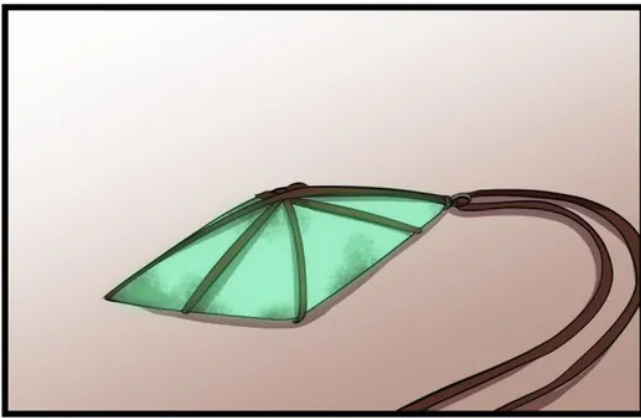


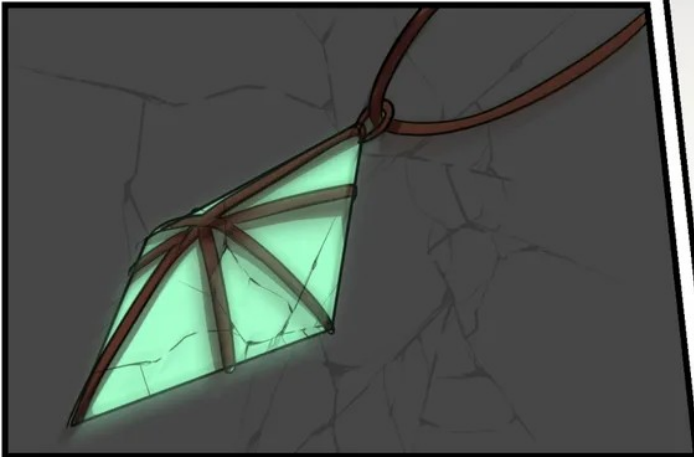
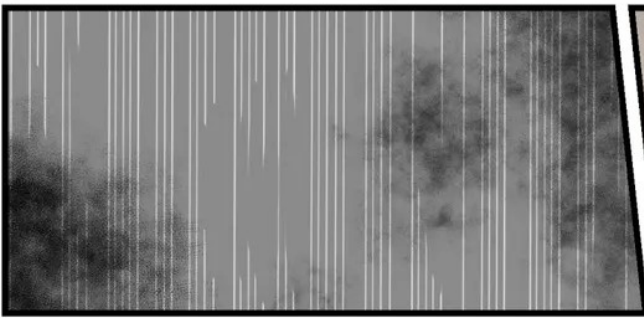






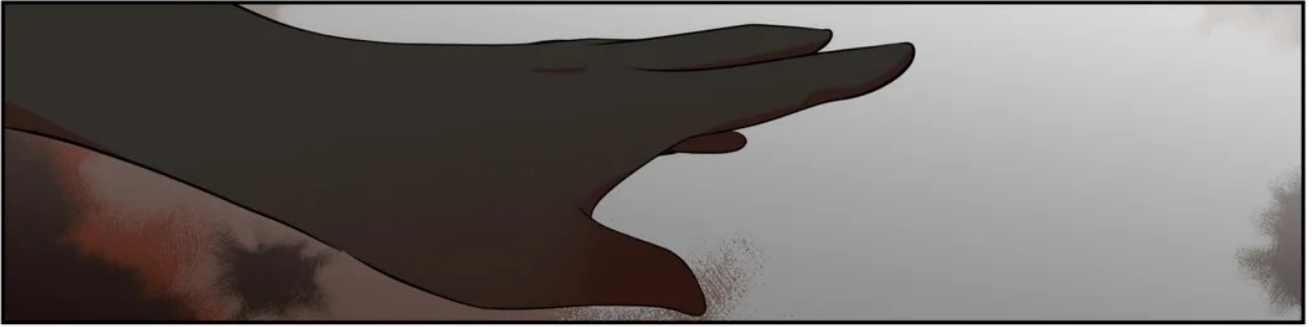




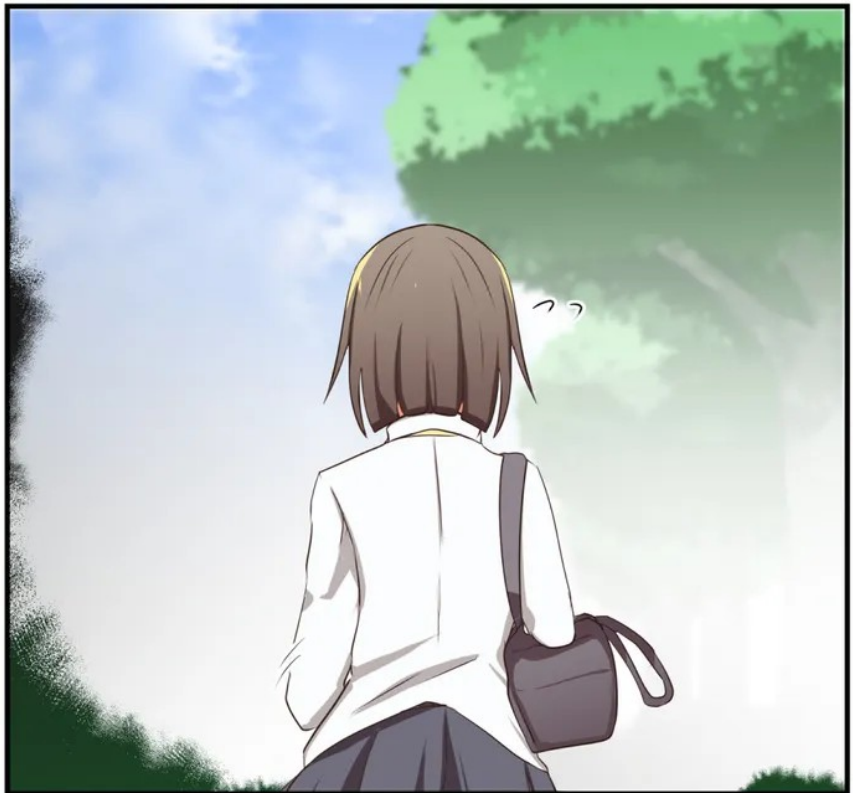
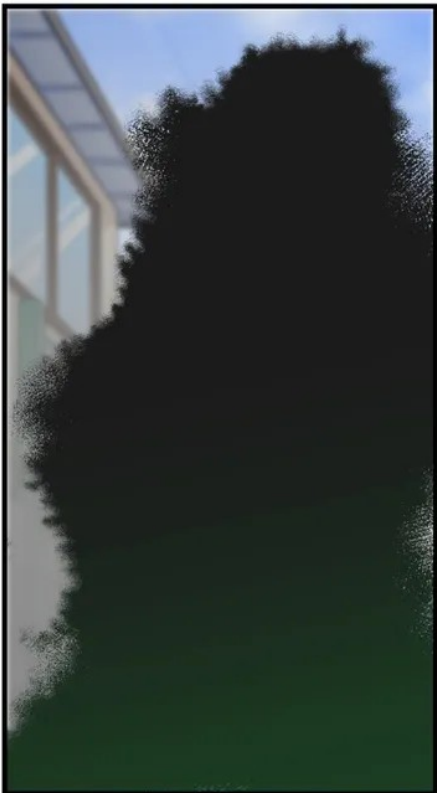
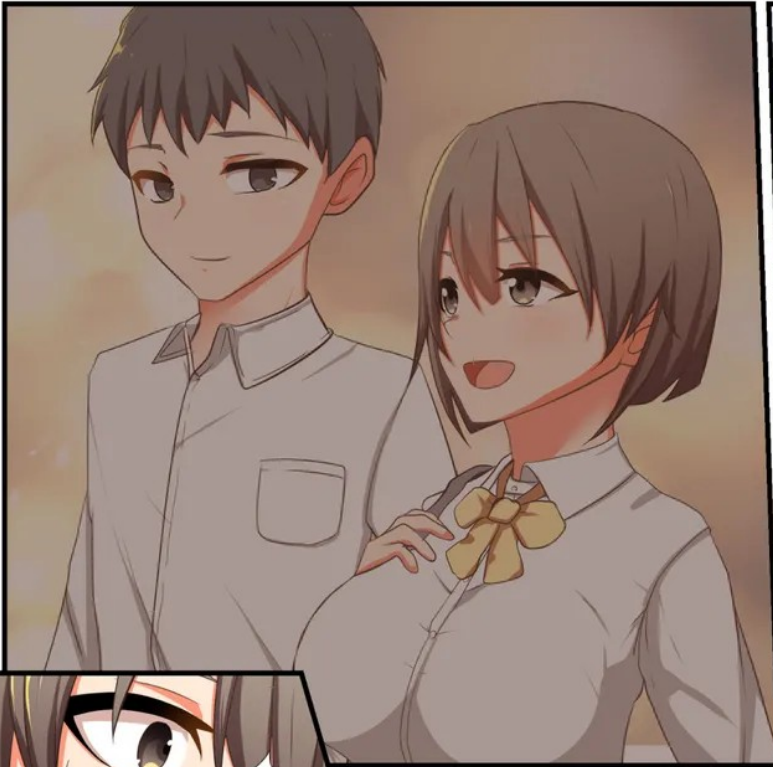




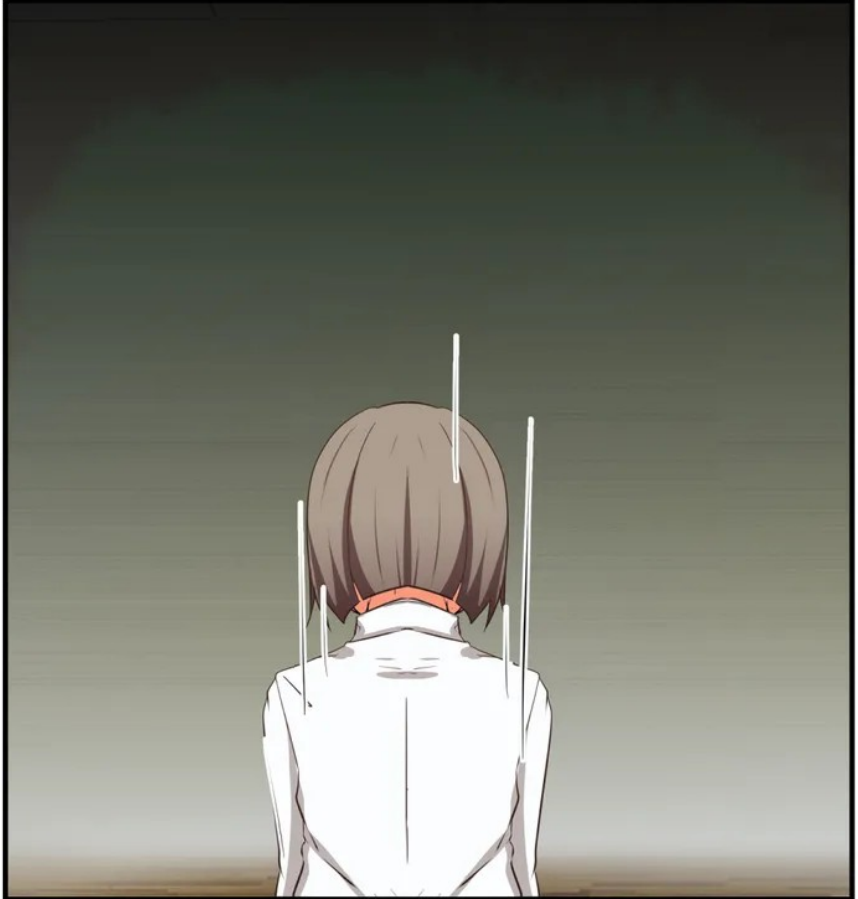


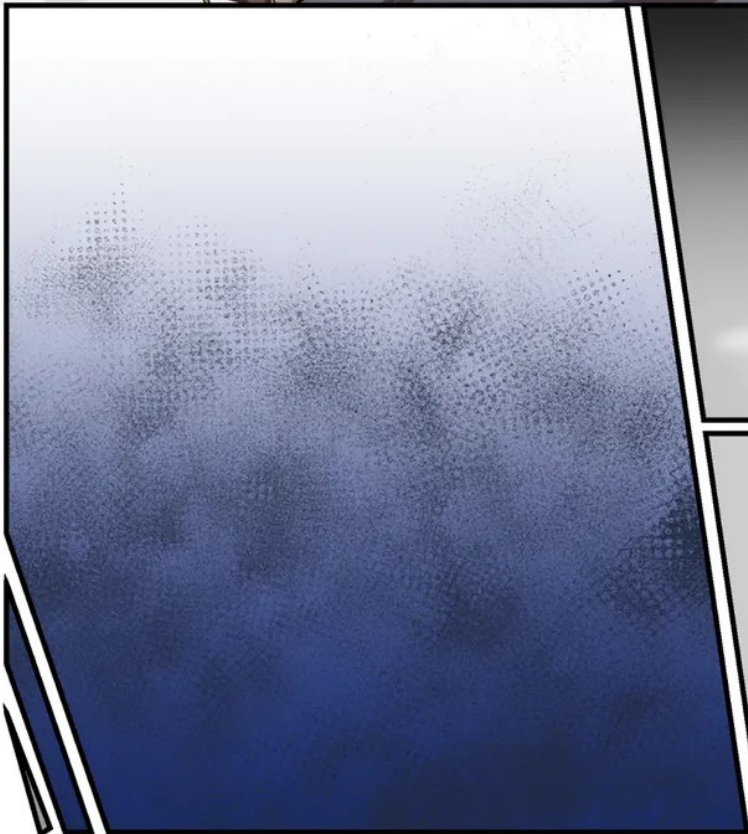




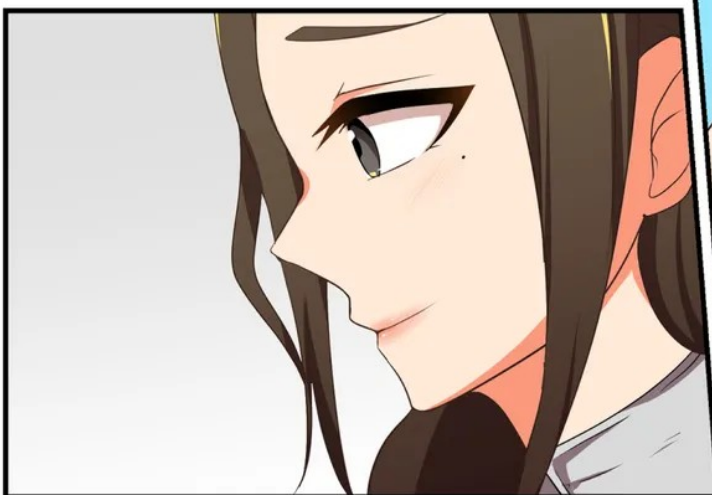
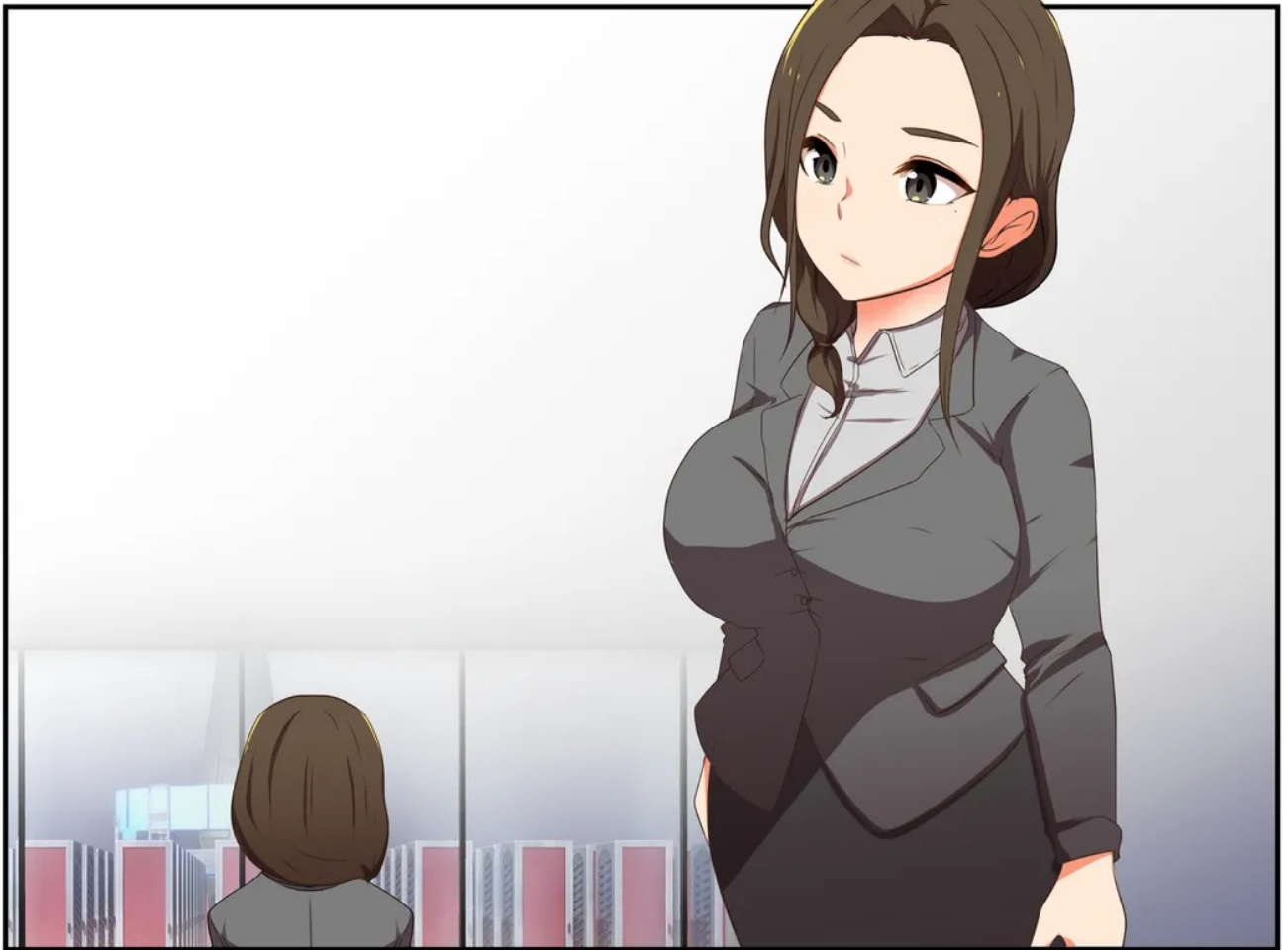


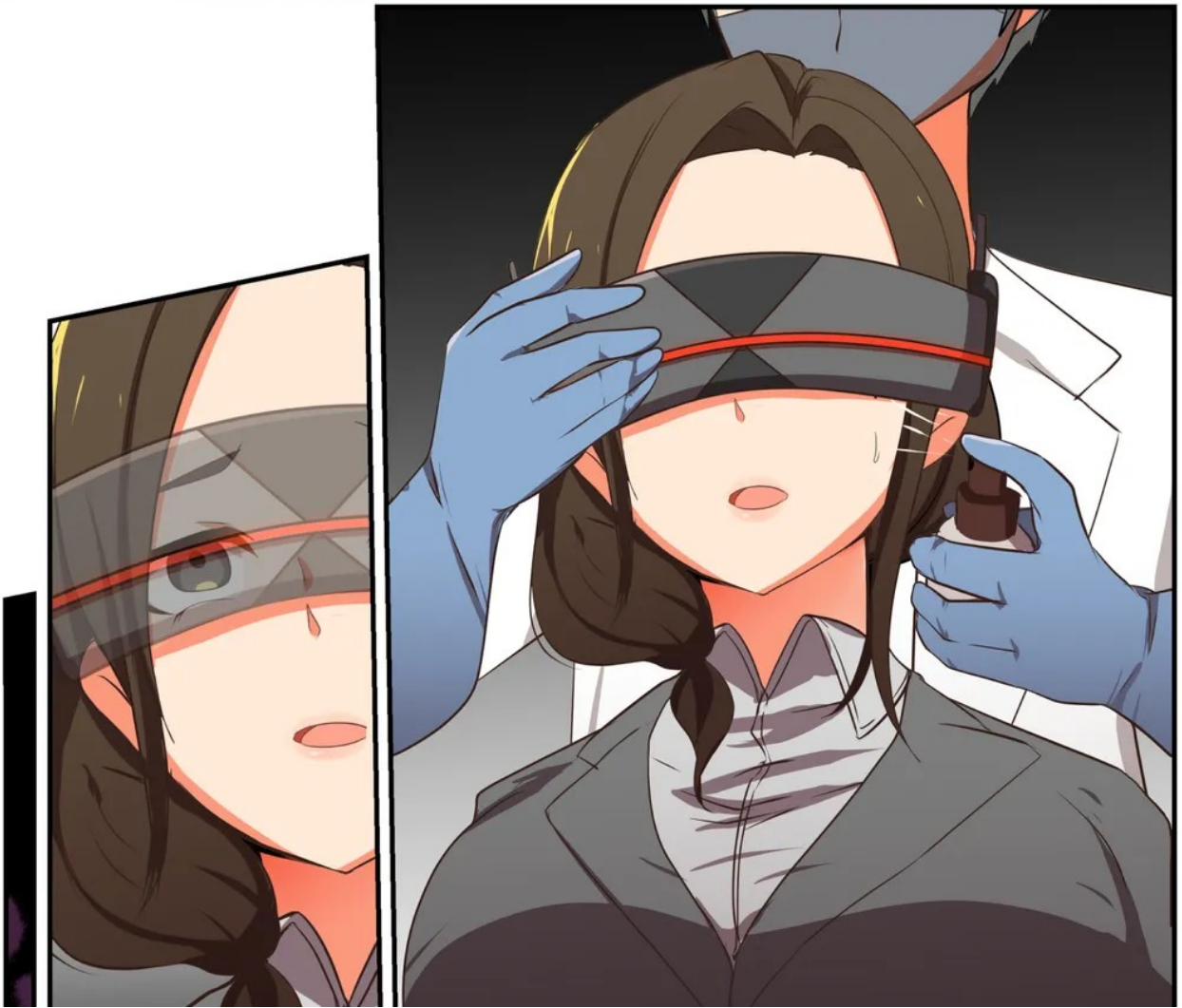
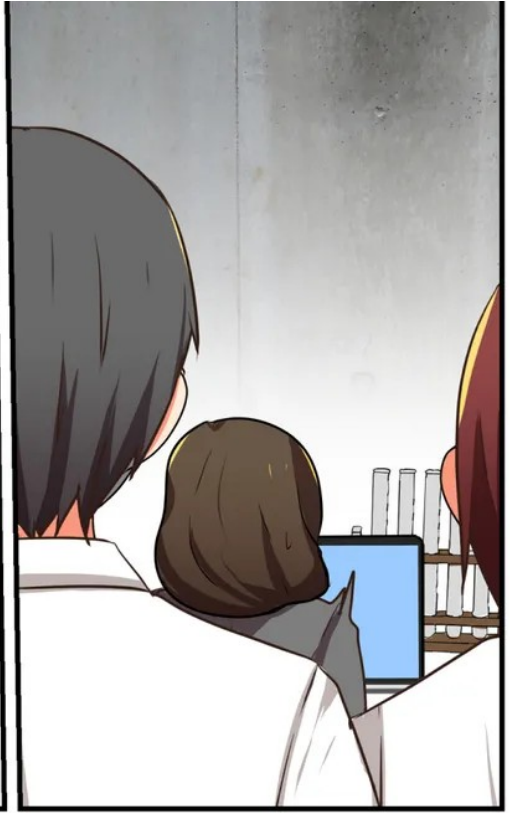


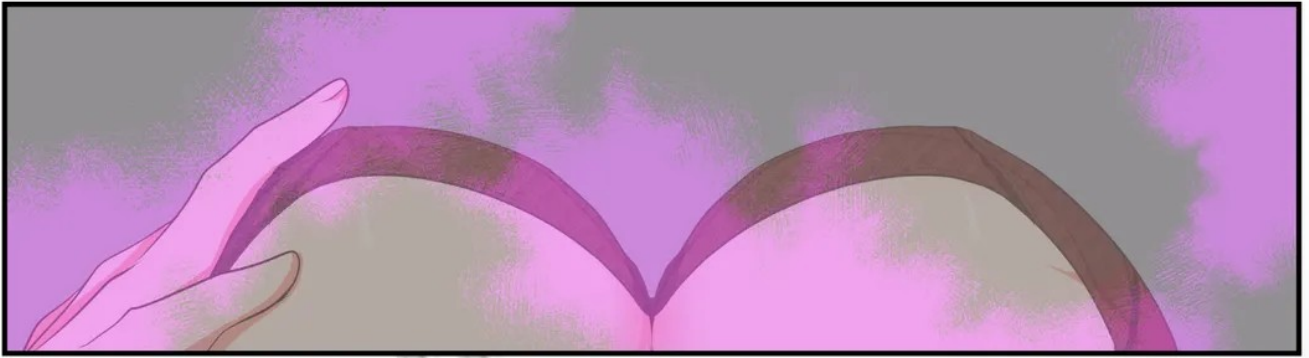












その胸を触ると、
熱い感じがする。

胸が膨らむ感じが、
気持ちいい。

胸を触ると、
熱い感じがする。

そんな気持ちになる
胸を触ると、
熱い感じがする。

胸を触ると、
熱い感じがする。

